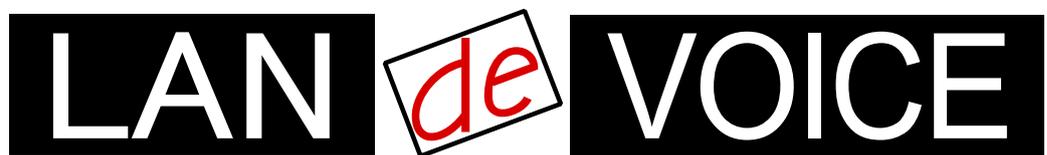


取扱説明書



Network Telephony Adaptor

マルチキャスト一斉同報サーバ

LANdeVOICE MCS401

A2 co,ltd.

LdV4-MCS401-2.1-2102

安全上のご注意

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入頂いた製品を安全にお使い頂くための注意事項が記載されています。内容をご理解のうえ、正しくお使いください。

お客様または第三者が被った下記すべての損害について、当社及び販売会社は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。

- 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
- 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。当社は本製品に関し、海外の保守サービス及び、技術サポート等を行っておりません。

使用している表示と絵記号の意味

 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しております。

 発火注意	特定の条件において、発煙または発火の可能性があることを示します。	 感電注意	特定の条件において、感電の可能性のあることを示します。
 けが注意	特定の条件において、怪我を負う可能性があることを示します。		

お守り頂く内容の種類を、次の表示で区分しております。

 禁止	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 強制指示	この表示は、必ず実行して頂く「強制」内容です。

 **警告** 火災・感電・けがを防ぐために

 感電注意

 発火注意

 禁止	<p>電源コードやACアダプタを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしないでください。破損し、火災、感電の原因となります。</p>
 禁止	<p>コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。また、AC100V以外での使用はしないでください。異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>本製品(付属品含む)の分解や改造、修理は行わないでください。火災や感電の原因となります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。</p>
 禁止	<p>本製品(付属品含む)に濡れた手で触れないでください。電源が入っているときは感電の恐れがあります。また、電源が入っていても、故障の原因となります。</p>
 強制指示	<p>ACアダプタはコンセントに完全に差し込んでください。差込が不完全のまま使用すると、ショートしたりし、発熱や発煙、火災の原因となります。抜くときは、必ずACアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。コネクタ部分に上下がある場合は、必ず正しい向きで差し込んでください。間違った向きのまま無理に差し込むと、ACアダプタや本製品が破損し、発煙や火災の原因となります。</p>
 強制指示	<p>ACアダプタを使用する場合は必ず付属品をお使いください。また、本製品に付属のACアダプタがある場合、他の製品には使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。</p>
 強制指示	<p>次の場合は使用を中止してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 液体や異物などが内部に入ってしまったとき ・ 煙、異臭、異音が出たとき
 強制指示	<p>アース線を接続してご使用ください。アース線を接続しないと感電や動作不良の原因となります。</p>
 強制指示	<p>取り付け取り外しの際は、必ず電源を抜いてください。感電や故障の原因となります。</p>

 注意

 落雷注意

 禁止	雷が鳴ったら本製品や電源コード、接続されているケーブル類には触れず、他機器の取り付け/取り外し等も行わないでください。落雷による感電の原因となります。
---	---

 感電注意

 発火注意

 禁止	本製品(付属品含む)は精密機器のため、次のような場所で設置、保管、使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 湿気や湯気の多いところや漏水のあるところ ・ 急激な温度変化のあるところ(結露するようなどころ) ・ 油煙、ほこりの多いところ ・ 火気の周辺又は熱気のこもるところ ・ じゅうたん等の保温性、保湿性の高いところ ・ 風通しの悪いところ ・ 漏電のあるところ ・ 強い磁界が発生するところ ・ 静電気が発生するところ ・ 直射日光があたるところ ・ 暖房器具の近くなどの高温になるところ ・ 水平でない場所や振動の激しいところ ・ 腐食ガスが発生するところ
 禁止	他の機器と密着させたり、本製品の上に物を置いたりしないでください。故障の原因となります。
 禁止	強い衝撃を与えないでください。 本製品は精密機器のため、落としたり強い衝撃を与えたりしてしまうと、故障の原因となります。
 強制指示	本製品(付属品含む)のほこりなどは定期的に取りってください。 湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源を切ってから、乾いた布で拭いてください。

 けが注意

 強制指示	お子様の手の届く場所へ設置、保管しないでください。 本製品(付属品含む)の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を設置してください。 小さなお子様をご利用になる場合は、製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。
---	---

設置について

以下の場合には、正規オプション品の「LANdeVOICE4 固定金具キット」をご使用頂 けます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品を壁掛け設置する場合 ・ 本製品を単独で平置きする際に固定したい場合 	
 強制指示	以下の場合には、必ず「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用してくだ さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品を平置き段積みする場合 ※本キットを使用せずに本製品を段積みして使用すると、製品内部 からの放熱ができなくなり、発熱による故障の原因となります。

その他

 禁止	シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品(付属品含む)を拭かないでく ださい。 汚れた場合は乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい時はきれ いな布に中性洗剤を含ませ、かたく絞ってから拭きとってください。 ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対に拭か ないでください。
 強制指示	静電気を除去してから触れてください。 静電気による破損を防ぐため、本製品(付属品含む)に触れる前にドアノ ブやアルミサッシ等、身近な金属に手を触れて身体の静電気を取り除くよ うにしてください。人体からの静電気は、本製品(付属品含む)を破損また はデータの消失、破損させる恐れがあります。
 強制指示	本製品(付属品含む)に接続する機器の取扱いは、各メーカーが定める 手順(取扱説明書など)に従ってください。

はじめに

このたびは、LANdeVOICE MCS401(本製品)をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品は、通話による音声のやり取りをネットワーク(IPネットワーク)を介して行う装置です。

本書は、本製品を正しくご利用頂くための手引です。ご使用前に必ず本書をよくお読み頂き、安全に使用でき、かつ本来の性能を十分に発揮できますよう、正しくお取り扱いください。

お読みになったあとは、必要な時にいつでもご覧頂けるように、大切に保管してください。

本製品に関する最新情報(ソフトウェアのバージョンアップ情報など)は、弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

<https://www.a-2.co.jp/LANdeVOICE/>

本書の表記について

 注意	操作中に気をつけて頂きたい内容です。必ずお読みください。
 メモ	この表示は、本製品を十分にご活用頂くための補足事項や参考となる情報を説明しています。

- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成致しておりますが、記載漏れや不審な点がありましたらご一報くださいますようお願い致します。
- LANdeVOICE は「外国為替および外国貿易管理法」に基づいて規制される戦略物資(または役務)には該当しません。
- Windows および Windows 10 は米国 Microsoft 社の商標です。
- LANdeVOICE は株式会社エイツ一の登録商標です。

目次

安全上のご注意	2
はじめに	6
目次	7
第 1 章 お使いになる前にお読みください	8
マルチキャストー斉同報サーバについて.....	9
CCS401 での管理について.....	14
付属品の確認.....	15
各部の名称と働き.....	15
LED 表示.....	17
第 2 章 設置と接続	19
設置する.....	20
電源を入れる.....	20
LAN ケーブルを接続する.....	20
第 3 章 MCS401 の設定方法	21
設定画面ログイン方法.....	22
設定画面について.....	26
設定画面のメニューについて.....	27
初期化の方法.....	28
設定の流れ.....	29
第 4 章 設定ファイル一覧	30
MCS401 基本設定ファイル(netcnfg.ini).....	31
MCS401 システム設定ファイル(syscnfg.ini).....	33
CCS401 システム設定ファイル(syscnfg.ini).....	35
第 5 章 LANdeVOICE 端末の設定	36
同報元端末の設定.....	37
放送受信端末の設定.....	39
第 6 章 CCS401 端末管理システム	41
CCS401 端末管理システム Web 画面ログイン方法.....	42
LANdeVOICE 端末情報の登録、閲覧、編集.....	44
端末状態確認表示.....	49
マルチキャストー斉同報の設定.....	52
CSV 入力による設定.....	64
第 7 章 運用例	71
第 8 章 製品仕様	80
付録	82
付録 1 ファイル送信による設定について.....	83
付録 2 修理について.....	86
付録 3 パソコンのネットワーク設定について.....	87

第1章 お使いになる前にお読みください

この章では、マルチキャスト一斉同報についてや、MCS401 の各部の名称と働きなどについて説明します。

- マルチキャスト一斉同報サーバについて
 - 1 概要
 - 2 開始音・終了音再生機能
 - 3 放送チャンネルのグループ化機能
 - 4 端末管理機能
- CCS401 での管理について
- 付属品の確認
- 各部の名称と働き
 - 1 前面
 - 2 背面と上面
- LED表示

マルチキャスト一斉同報サーバについて

運用するためには以下の製品が必ずセットで必要になります。

□ LANdeVOICE CCS401 (Ver.2.2.0 以上)

□ LANdeVOICE MCS401

いずれか片方のみでの運用はできませんのでご注意ください。

※必要に応じてCCS401 の取扱説明書もご参照ください。

以下、MCS401 の機能を説明します。

1 概要

MCS401 はマルチキャスト一斉同報(放送)機能を持ったサーバです。

■マルチキャスト一斉同報とは

マルチキャスト通信方式を使用し、同報元端末の音声をIPネットワーク経由でLANdeVOICEの各受信端末へ配信します。MCS401 から各受信端末までの配信方式がマルチキャストになります。

- ・マルチキャストに対応したネットワーク環境が必要です。
- ・受信端末に放送受信設定をする必要があります(第 5 章参照)。

■用語解説

放送チャンネル: 電話番号、チャンネル番号、放送の優先度、開始音・終了音が設定された放送の単位

※以下、「放送CH」と略します

電話番号: 同報元端末から放送CHへ放送を行うためにダイヤルする番号

チャンネル番号: LANdeVOICE端末が放送を受信するために設定する番号

※server.iniに記述するMCH番号

放送チャンネルグループ: 複数の放送CHをグループ化したもの

※以下、「放送CHグループ」と略します

■仕様

最大登録電話番号数: 800 件 (CCS401 の端末管理システムの登録可能件数)

放送受信可能端末数: 理論上無制限

最大登録放送CH数: 255 放送CH

登録可能優先度: 1~255

最大同時同報数: 19+1(チャンネル番号 1 固定)=20 放送CH

※PBSPシリーズの場合 9+1=10 放送CH

最大登録放送CHグループ数: 10 グループ

※1 グループ 20 放送CHまで、

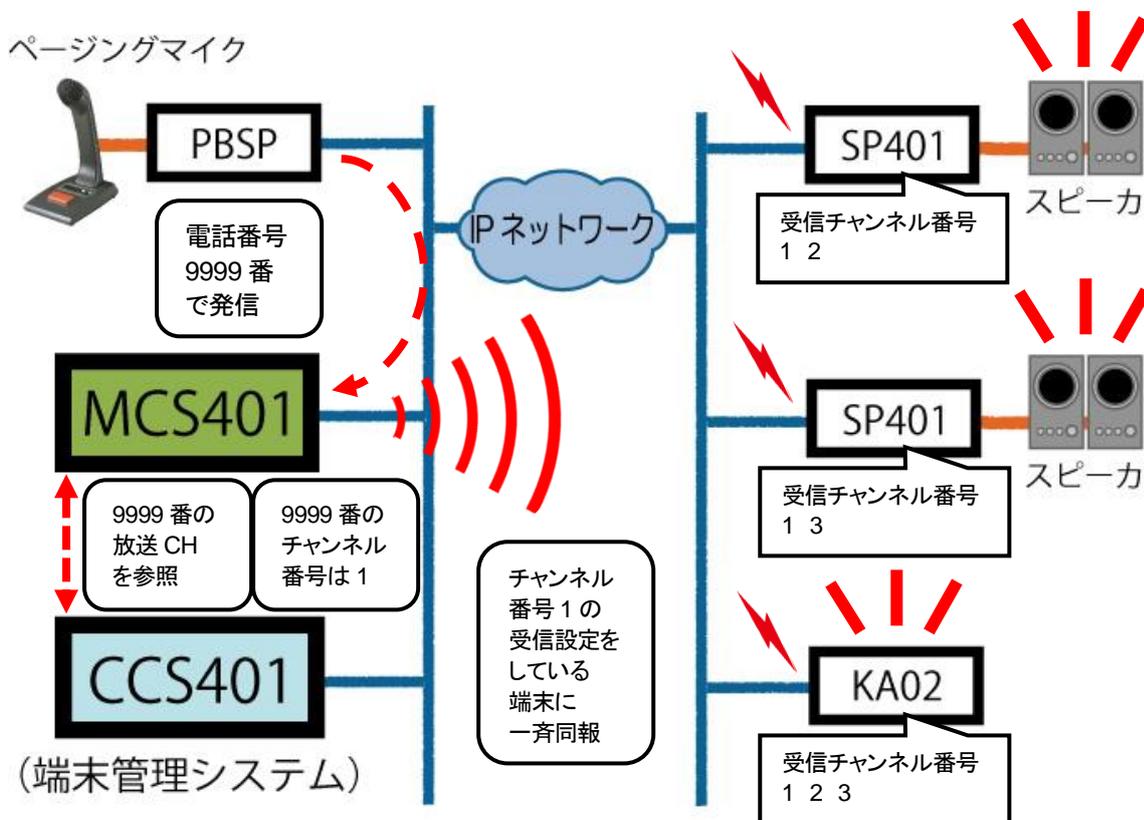
うち 1 つはチャンネル番号 1 を含むこと必須

注意 ネットワーク環境について

セグメントを越えてマルチキャスト一斉同報を行う場合、ルータが受信端末からのIGMPパケットを処理できる必要があります。
受信端末はIGMPv2 プロトコルを使用します。

■一斉同報の流れ

同報元端末(下図ではPBSP)からMCS401に発信すると、登録された該当放送CHの放送が開始され、あらかじめその放送CHの受信設定をしている端末に対して一斉同報が行われます。



※放送を受信するには端末側での設定(P.39、40 参照)が必要です。

■制限

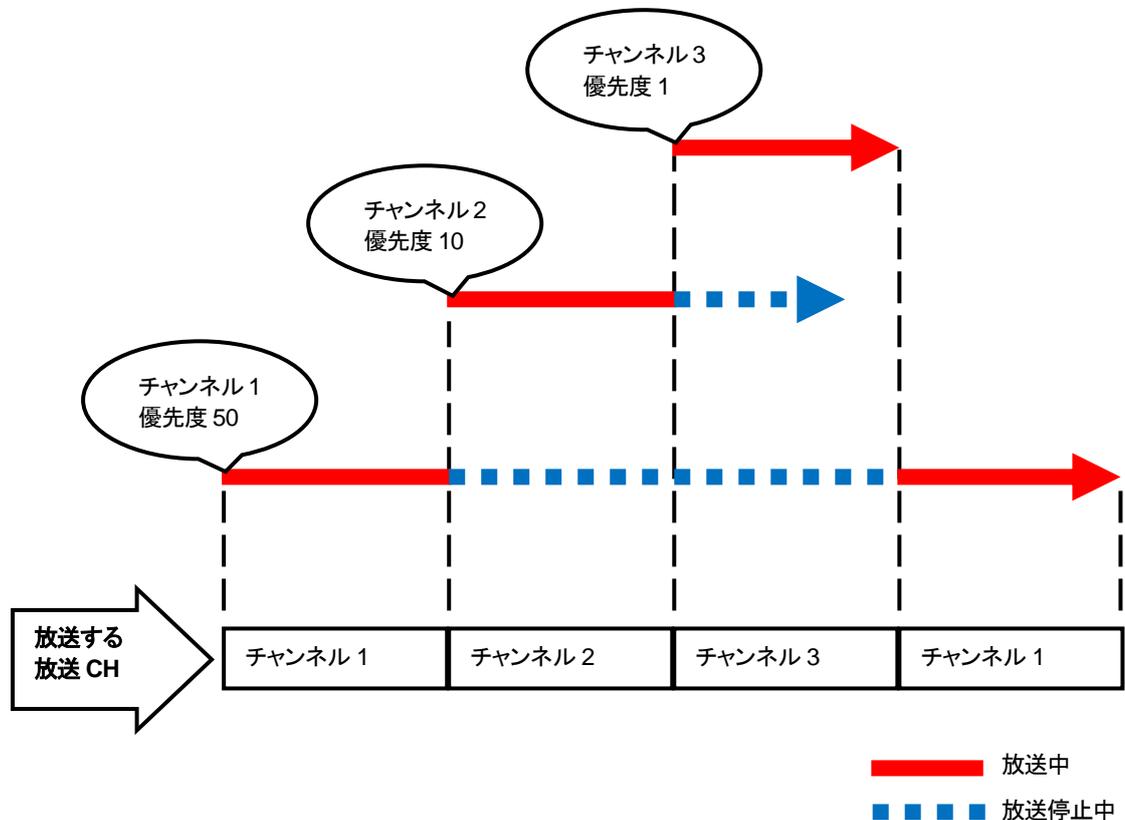
- ・一つの同報に対して受信端末台数の制限はありません。
- ・同時同報数合計 20(チャンネル番号 1 を含む)を超えて一斉同報を行うことはできません。
- ・受信端末になることができるのはSP401、PBSP、PBSP-SIO、PBSP-BL、KA02のみです。
- ・受信端末は機種によって対応する放送プロトコルが異なります。MCS401 のパラメータ「MCS_TYPE」(P.33 参照)にて放送プロトコルを選択するようになっており、それぞれの対応機種は下表の通りになっています。対応する放送プロトコルが異なる機種を混在させないようにご注意ください。

MCS_TYPE値 (放送プロトコル)	対応機種
0	SP401、KA02
1	SP401、PBSPシリーズ

■放送の優先度

複数の放送を同時に受信した端末については、優先度がより高い放送CHが放送されます(P.56 参照)。

例えば、チャンネル番号 1、2、3 の受信設定をしている 1 台の受信端末が同時に複数の放送を受信する場合、以下のような動きになります。



- 1 チャンネル番号 1 の放送CHを受信
チャンネル番号 1 の放送CHを放送します。
- 2 チャンネル番号 2 の放送CHを受信
チャンネル番号 2 の放送CHの優先度はチャンネル番号 1 の放送CHの優先度より高いため、チャンネル番号 2 の放送CHを割り込みで放送します。
- 3 チャンネル番号 3 の放送CHを受信
チャンネル番号 3 の放送CHの優先度はチャンネル番号 2 の放送CHの優先度より高いため、チャンネル番号 3 の放送CHを割り込みで放送します。
- 4 チャンネル番号 3 の放送CHが終了
現在放送している放送CHが終了した場合、1 つ前の放送CHに戻ります。上図の場合はチャンネル番号 2 の放送CHがすでに終了しているため、チャンネル番号 1 の放送CHに戻り、途中から放送を再開します。

2 開始音・終了音再生機能

一斉同報の開始時と終了時に、チャイム音等を再生することができます。(P.56、63 参照)。

- ・放送CHごとに開始音・終了音を設定することができます。
- ・MCS401 及び放送受信端末に同じ音源ファイル(WAVファイル)がインストールされている必要があります。
- ・MCS401 には工場出荷時に以下のファイルがインストールされています。
 - 1.wav (開始音:サイレン音)
 - 2.wav (開始音:サイレン音)
 - 3.wav (開始音:チャイム音 上がり)
 - 129.wav (終了音:チャイム音 下がり)
 - 130.wav (終了音:チャイム音 下がり)
 - 131.wav (終了音:チャイム音 下がり)
- ・放送受信端末を 2018 年 7 月以前に購入している場合は音源ファイルをアップデートする必要があります。
- ・同報元端末側には開始音・終了音が聞こえません。

※MCS401 にインストールされている音源ファイルの長さが、放送受信端末側での開始音・終了音再生に要する時間となります。

※MCS401 ではインストールした音源ファイルを開始音・終了音設定時に試聴することもできます。

※音源ファイルのインストールは、MCS401 及び各放送受信端末の設定画面メニュー「ファイル送信/バックアップファイル復元」にて行います。

※音源ファイルは弊社Webサイトからダウンロード可能です。

<https://www.a-2.co.jp/landevoice/support/firmware.html>

お客様で音源ファイルを用意する場合の形式等についてはお問い合わせください。

3 放送チャンネルのグループ化機能

複数の放送CHをグループ化することができます(P.58、60、61 参照)。

例えば放送先拠点別に放送CHを設計した場合、本機能で放送先拠点をグループ化できることとなります。

- ・最大 10 グループ、1 グループ最大 20 放送CH(うち 1 つはチャンネル番号1を含むことが必須)をグループ化できます。

※チャンネル番号 1 を除いて 20 放送CHを設定した場合は放送することができません。

- ・グループ化した放送CHの内、放送受信端末側で複数の放送CHを受信する設定になっている場合、優先度の高い放送CHが放送されます。
- ・開始音・終了音はグループ内の各放送CHに設定されているものが再生されません。再生時間が一番長いものに合わせて放送が開始されます。
- ・放送中の放送CHが含まれたグループには放送をかけることができません。

5 端末管理機能

CCS401 に搭載の端末管理システムWeb画面にて、マルチキャスト斉同報の放送CH登録を行います。端末やサーバの通信状態等の確認もすることができます。

端末状態確認

LANdeVOICE端末および各サーバの通信状態を確認できます

各サーバのステータス

	通信ステータス	IPアドレス	ポート番号
CCS401	● 正常	192.168.1.93	4445
MCS401	● 正常	192.168.1.91	4445

検索対象列: 電話番号 ▼ 検索ワード:

正常端末を表示する
 異常端末を表示する
 [Q検索](#)

検索結果 表示件数: 4件中 1-4件

<input type="checkbox"/> 接続/切断日時 <input type="checkbox"/> 動的ポート番号						
通信ステータス	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント	
1	● 通話中	100	0	192.168.1.90	4445	管理部 PBSP 電話機
2	● 通話中	200	0	192.168.1.94	4445	第1会議室 SP401 スピーカ
3	● 待機中	300	0	192.168.1.95	4445	第2会議室 SP401 スピーカ
4	● 異常	400	0	192.168.1.96	4446	営業部 KA02 スピーカ

最初のページへ
一つ前へ
1
一つ次へ
最後のページへ

ページを再読み込み
端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.

CCS401 での管理について

CCS401 でLANdeVOICE端末の管理を行うために必要な事柄や前提について説明します。

- 1 CCS401 には固定IPアドレスが必要です。
- 2 LANdeVOICE端末にはCCS401 のIPアドレスを登録する必要があります。
端末はCCS401 にステータス通知を行い、CCS401 はその通知内容を端末管理システムに反映します。端末にCCS401 のIPアドレスを登録しないとこのステータス通知を行うことができません。
※具体的な設定方法については第 5 章をご覧ください。
- 3 LANdeVOICE端末はIPアドレスまたはシリアル番号で管理されます。
端末のIPアドレスが固定の場合はIPアドレスで管理されます。
IPアドレスが動的の場合はシリアル番号で管理されるため、シリアル番号の登録を行う必要があります。
※具体的な登録方法についてはP.46、47 をご覧ください。
- 4 LANdeVOICE端末はできるだけ短い間隔でステータス通知を行う必要があります。
端末のステータス通知の間隔が長ければ長いほど、端末管理システムへの反映が遅れます。端末管理システムをできるだけ最新状態で活用するために、各端末のステータス通知間隔を 3 分に設定することを推奨します。
※具体的な設定方法については第 5 章をご覧ください。
- 5 端末管理システムでの初回端末登録時や一括編集時には「CSV入力タブ」を使用することをおすすめします(P.64 参照)。
それ以外のメンテナンス(端末の追加、登録済み端末情報の変更)時は「LANdeVOICE端末情報」タブを使用することをお勧めします(P.44 参照)。
- 6 LANdeVOICE端末のIPアドレスは端末側でしか変更できません。
端末のIPアドレスは端末管理システムで閲覧することはできますが、変更することはできません。変更したい場合は各端末で設定変更を行ってください。

付属品の確認

MCS401 をご使用になる前に、以下のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げ頂いた販売店または代理店までご連絡ください。

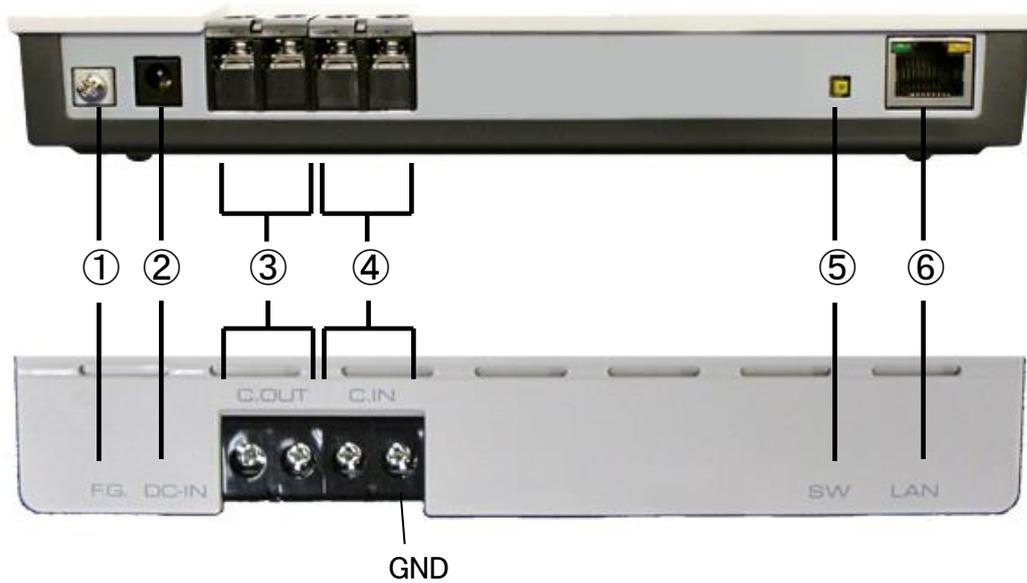
- LANdeVOICE MCS401 本体
- ACアダプタ (専用アダプタ 9V 1A)
- LANケーブル (ストレート 3m)
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書 (本書末尾)
- シリアルシール

各部の名称と働き

1 前面



2 背面と上面



- ① F.G.
接地(アース)端子
- ② DC-IN
付属の AC アダプタを接続
- ③ C.OUT 使用しません ※将来拡張用
- ④ C.IN 使用しません ※将来拡張用
- ⑤ SW
初期化用プッシュスイッチ(P.28 参照)
- ⑥ LAN
RJ-45 ネットワークケーブル(10BASE-T/100BASE-TX)を接続

LED表示

LED表示			MCS401 の状態
STATUS	CCH	TCH	
消灯	消灯	消灯	電源OFF
電源を入れた瞬間にSTATUSが約 5 秒間紫点灯。一旦消灯し、約 5 秒後にSTATUSが不規則に紫点滅。約 15 秒後に全LEDが白交互点灯			電源投入時
緑点灯	緑点灯	緑点灯	待機状態
赤遅点滅	緑点灯	緑点灯	LANケーブルが接続されていない
赤速点滅	赤速点滅	赤速点滅	端末再起動中
白速点滅	白速点滅	白速点滅	設定画面左上「点滅」ボタン押下時 (3 秒間点滅) ※複数台の端末を同時に設定する場合に設定中の端末を確認可能
橙速点滅	消灯	消灯	CCS401 との通信が確立されていない
青点灯	緑点灯	橙点灯	一斉同報中
赤速点滅	消灯	消灯	不適切なファイルが送信された ※送信されたファイルは反映されていません。 適切なファイルを送信してください。 ※再起動すると待機状態に戻ります。
橙点灯	橙点灯	橙点灯	異常時 (ソフトウェアに関する異常を検出) ※設定変更時にも一時的に同様のLED表示になります。



メモ 異常時の対処

端末状態のLEDが異常時の状態を表しているときには、お客様では復旧できません。修理が必要となりますので、お手数ですが、お買い求め頂いた代理店または販売店へご連絡ください。

または、弊社Webサイトよりメールにてお問い合わせください。
<https://www.a-2.co.jp/LANdeVOICE/>

なお、機能追加等の理由でファームウェアのバージョンが更新され、予告なく仕様が変更されている場合があります。
弊社Webサイトにて随時情報が更新されていますので、ご確認くださいませよう、お願いいたします。

第2章 設置と接続

この章では、MCS401 の設置と各機器との接続方法について説明します。
設置する前に、P.2「安全上のご注意」を必ずお読みください。
手順としては、第 3、4 章の設定を先に行った方がスムーズな場合があります。

- 設置する
- 電源を入れる
- LANケーブルを接続する

設置する

通常設置の場合は、MCS401 のゴム脚(滑り止めシール)が付いている面を下にして設置してください。

壁掛け設置をする場合や平置きで台に固定する場合は、正規オプション品の「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用することを推奨します。

平置き段積みする場合には、必ず「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用して設置してください。

電源を入れる

- 1 MCS401 には電源スイッチはありません。ACアダプタのコネクタ部分を「DC-IN」に接続し、プラグ部分をコンセントに差し込むと電源が入ります。
※必要に応じて、アースを接続してください。



- 2 MCS401 の電源を切るには、プラグ部分を電源コンセントから抜きます。

LANケーブルを接続する

- 1 LANケーブルを「LAN」と書かれたポートに接続します。
ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 2 LANケーブルの反対側をHUBまたはルータなどのネットワーク機器に接続してください。

メモ LANポートのリンクランプを確認してください

MCS401 とネットワーク機器が正しく接続されている場合は、電源投入後にLANポートのリンクランプが点灯します。ご使用になる前にリンクランプが点灯しているかご確認ください。

接続状況	緑 LED(左)	黄 LED(右)
100BASE-TX でリンクアップ	点灯	点灯
10BASE-T でリンクアップ	点灯	無灯

第3章 MCS401 の設定方法

この章では、MCS401 を設定するための手順等について説明します。

- 設定画面ログイン方法
- 設定画面について
- 設定画面のメニューについて
- 初期化の方法
- 設定の流れ



メモ 設定方法について

MCS401 は、お客様のパソコンの Web ブラウザより必要な設定をして頂きます。

設定変更の際は本書をよくお読みになり、正しく設定をしてください。

設定画面ログイン方法

MCS401 を設定するための、設定画面のログイン方法について説明します。

1 本体に電源を入れます。

本体に添付のACアダプタとLANケーブルを接続します。
 本体のLEDが待機状態になっているか確認をしてください。
 LEDについて(P.17)

【出荷時設定】

本体の IP アドレス(IP)	192.168.1.24	※変更可
ネットマスク	24(255.255.255.0)	※変更可
デフォルトゲートウェイ(ROUTER)	192.168.1.1	※変更可
HTTP ポート番号(HTTPD_PORT)	8084	※変更可
ユーザ名	admin	※変更不可
パスワード	admin	※変更可:下記参照

【パスワード設定可能値】

半角英数字、6種類の半角記号、合計5～8文字で設定可能です。
 ※英字の大文字、小文字は区別されます

1234567890
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
 ! (感嘆符) # (番号記号) % (パーセント)
 & (アンパサンド) @ (単価記号) _ (アンダーバー)

注意 設定時の注意

- ・設定用のパソコンとMCS401は、IPネットワーク(IPv4)で接続できる必要があります。パソコンのネットワーク設定をMCS401に合わせ、同一セグメント内(推奨)から接続してください。 ※P.87 参照
- ・WebブラウザのJavaScript機能を有効にしてご使用ください。
- ・パスワードはセキュリティの観点から変更することを推奨いたします。パスワードは他人に知られないようにしてください。
- ・設定時には、本体のLEDが正常動作しているかご確認ください。MCS401が通話中の場合に設定を変更すると、再起動が発生し通話が切断されますのでご注意ください。

2 パソコンのWebブラウザを起動します。

【Webブラウザとは】

Webページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。
弊社で動作確認済みのWebブラウザは、以下の通りです。

- ・Microsoft Edge(バージョン:79.0.309.65 以上)
- ・Firefox
- ・Google Chrome

※WebブラウザのJavaScript機能を有効にしてご使用ください。

3 起動したら、Webブラウザのアドレスバーに「http://192.168.1.24:8084/」と入力し、[Enter]キーを押します。



http://192.168.1.24:8084/



MCS401 の IP アドレス



設定画面に接続するための
HTTP サーバのポート番号

※アドレスとポート番号は、出荷時設定(初期設定値)です。
設定を変更した場合には、設定後のIPアドレスとポート番号に置き換えてください。(IPアドレスはIPv4 アドレスのみとなります)

- 4 ログイン画面になりましたら、ユーザ名とパスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。
※ブラウザにより表記が異なります

The screenshot shows a login interface with two input fields. The first field is labeled 'ユーザー名' (Username) and contains the text 'admin'. The second field is labeled 'パスワード' (Password) and contains masked characters '.....'. Below the fields are two buttons: a blue 'サインイン' (Sign In) button and a grey 'キャンセル' (Cancel) button. A red rectangular box highlights the two input fields, and another red rectangular box highlights the 'サインイン' button.

ユーザ名 : admin
パスワード : admin
半角小文字で入力してください

 **注意** パスワードについて

ご購入時や初期化時は、パスワードが初期値となります。
設定画面からパスワードを変更することができますので、セキュリティ上、パスワードを変更して使用することを推奨いたします。
また、パスワードは他人に知られないようにしてください。

 **メモ** ページが上手く表示できない場合の対処方法

以下の項目をご確認ください

- ・ MCS401 のLEDが待機状態であるか
- ・ LANケーブルが奥までしっかりと接続されているか
(ケーブルはカチッと音がするまで差し込んでください)
- ・ LANケーブルが接続されているHUB等のネットワーク機器のランプがアクティブな状態になっているか
- ・ 設定するパソコンのネットワーク設定が適切か
- ・ IPアドレス及びポート番号の値が適切か
- ・ IPアドレスとポート番号の間が「:」(半角コロン)になっているか
- ・ パソコンのコマンドプロンプトより「ping 192.168.1.24」にて通信が確認できるか

5 下記のような画面が表示されたら、設定画面へのログイン完了です。



MCS401 | MCS401 | SN2001702

LANdeVOICEをお買い上げいただき、ありがとうございます。
 取扱説明書や最新のファームウェアは下記サイトをご確認ください。
 製造元:株式会社エイツー
 Webサイト: <http://www.a-2.co.jp/LANdeVOICE/>

▶ MCS401 設定画面

▶ 端末情報

端末名	MCS401	点滅
製品名	MCS401	
SN	2001702	
MAC	00-10-43-14-06:a6	
リリース	2.1.0	

▶ 端末管理システム

- ログ確認 ▶
- バックアップファイル作成 ▶
- ファイル送信/
バックアップファイル復元 ▶
- PING実行 ▶
- ログイン用パスワード変更 ▶
- 工場出荷時設定 ▶

▶ 基本設定ファイル (netcnfg.ini)

変更したい箇所を直接書き換えて画面下部の"設定変更"ボタンを押してください。
 入力は全て半角文字を使用してください。

IPアドレス/ネットマスク	192.168.1.24	/	24 (255.255.255.0) ▼
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1		
端末名	MCS401 半角英数字、ピリオド、ハイフンを使用できます。 最大20文字。		
HTTPポート番号	8084 (0 - 65535) 0または空白を設定すると設定画面が開かなくなります。		

キャンセル

▶ 端末の時刻設定

NTPサーバと同期したい場合は、"IPアドレス"と"同期間隔"を記述し、画面下部の"設定変更ボタン"を押してください。設定変更後すぐに同期を開始します。
 パソコンと同期したい場合は、"パソコンの時刻に合わせる"ボタンを押してください。すぐに同期を開始します。

設定変更

設定画面について

設定画面については、以下のようになっています。
 設定は、直接書き換えることができます。
 「キャンセル」ボタンを押すと、変更内容をキャンセルします。

The screenshot shows the 'MCS401 設定画面' (MCS401 Configuration Screen) for LANde VOICE. The interface is divided into several sections, each highlighted with a red box and labeled with a callout:

- 端末情報** (Terminal Information): A table showing details for MCS401, including SN (2001701), MAC (00:10:43:14:06:a5), and リリース (2.0.0_b1).
- 基本設定 (netcnfg.ini) 設定値については第4章に記載** (Basic Settings (netcnfg.ini) - values are in Chapter 4): A form for configuring network settings like IP address, gateway, and port.
- 基本設定 (netcnfg.ini) キャンセルボタン** (Basic Settings (netcnfg.ini) - Cancel button): A 'キャンセル' (Cancel) button located below the basic settings form.
- 端末時刻設定** (Terminal Time Setting): A section for setting NTP server synchronization and current terminal time.
- システム設定 (syscnfg.ini) 設定値については第5章に記載** (System Settings (syscnfg.ini) - values are in Chapter 5): A text area for editing system configuration files.
- システム設定変更 キャンセルボタン** (System Settings Change - Cancel button): A 'キャンセル' (Cancel) button located below the system settings text area.
- 設定変更ボタン** (Settings Change Button): A large '設定変更' (Settings Change) button at the bottom center of the page.

設定ファイルを書き換えた後は、ページ下部にある「設定変更」ボタンを必ずクリックし、設定を反映させてください。

NTPサーバとの同期設定後、再度、すぐに同期したい場合は、「端末の時刻設定」の「再度 NTP サーバと時刻同期を行う」ボタンをクリックしてください。クリックすると、すぐに設定条件での同期を開始します。

設定画面のメニューについて

設定画面のメニューについて説明します。

①	ログ確認	»
②	バックアップファイル作成	»
③	ファイル送信/ バックアップファイル復元	»
④	PING実行	»
⑤	ログイン用パスワード変更	»
⑥	工場出荷時設定	»
⑦	端末再起動	»

- ① ……現在の端末内部ログを取得(表示)します。
 - ・動作ログ(mlog) : 基本動作を記録したログです。
 - ・通信ログ(cchlog) : 呼制御動作を記録したログです。
 - ・解析ログ(elog) : 詳細動作を記録したログです。(メーカー調査用)
- ② ……設定ファイルやログをパソコンに保存します。
設定完了後や修理を依頼いただく際は、バックアップファイルの作成・保存を推奨します。
保存されたファイルは「.tgz形式(tar.gz形式)」で圧縮されています。
(解凍ソフト例:Lhaplus)
※WAVファイルはバックアップできません。
- ③ ……パソコン上で作成した各種設定ファイルを端末に転送できます。
ファームウェアのアップデートや、予め作成した設定ファイルなどを転送することができます。
(修理後、お手元に製品が戻ってきましたら、予め保存しておいた③で作成したバックアップファイルの中に含まれている該当ファイルを転送することにより、修理前の設定に戻すことができます)
- ④ ……IPアドレスを入力してpingを実行します。
IPv4 アドレスのみです(ホスト名は不可)
- ⑤ ……設定画面ログイン時のパスワードを変更します。
設定可能値:P.22 参照
- ⑥ ……MCS401 の工場出荷時設定が記載されています。
ページ下部の「設定変更」ボタンをクリックすると、システム設定ファイル(syscnfg.ini)の設定が工場出荷時設定に初期化されます。
- ⑦ ……MCS401 本体を再起動します。
(通話中の場合は通話が切断されます。)

初期化の方法

本体背面のSW(プッシュスイッチ)を約 3 秒以上長押しすると全LEDが赤速点滅し、自動的に再起動します。再起動後、以下の項目が出荷時設定となります。

端末のIPアドレスやパスワードがわからなくなった場合は、この方法でログインすることができます。

- 基本設定ファイル(netcnfg.ini)の全項目
- admin ユーザのパスワード:admin

再起動後は、ブラウザに以下のURLを指定することによって設定画面にアクセスすることができますようになります。

<http://192.168.1.24:8084/>

※システム設定ファイル(syscnfg.ini)を初期化する場合は、設定画面メニュー「工場出荷時設定」ページ下部の「設定変更」ボタンをクリックしてください。

設定の流れ

マルチキャスト一斉同報システムの設定の流れは以下の通りです。

- 1** CCS401 のシステム設定ファイル(syscnfg.ini)に「MCS_IP」を設定
CCS401 の設定画面にログインし、システム設定ファイルのパラメータ「MCS_IP」にMCS401 のIPアドレスを設定します(P.35 参照)。
- 2** CCS401 の端末管理システムにて端末情報を登録
設定画面から端末管理システムWeb画面にログインし、「LANdeVOICE端末情報」タブにて端末情報の登録を行います(P.44 参照)。
- 3** CCS401 の端末管理システムにてマルチキャストの設定を行う
端末管理システムWeb画面の「マルチキャスト」タブにて一斉同報の設定を行います(P.52 参照)。
- 4** MCS401 の基本設定ファイル(netcnfg.ini)及びシステム設定ファイル(syscnfg.ini)を設定
MCS401 の設定画面にログインし、P.31～34 に記載の各項目・パラメータを設定します。

第4章 設定ファイル一覧

この章では、CCS401 及び MCS401 を設定するための各種設定ファイルについて説明します。

- MCS401 基本設定ファイル(netcnfg.ini)
- MCS401 システム設定ファイル(syscnfg.ini)
- CCS401 システム設定ファイル(syscnfg.ini)

MCS401 基本設定ファイル (netcnfg.ini)

MCS401 のネットワークに関する基本情報の設定ファイルです。
 端末の時刻設定の一部も含まれます。
 変更したい箇所を直接書き換えて「設定変更」ボタンを押してください。
 ※全て半角文字で記述してください。

このファイルで設定できる項目は下表の通りです。

項目名	説明	設定可能値	出荷時設定
IPアドレス/ ネットマスク	MCS401 のIPアドレスとネットマスクを設定します。 ネットワークに合わせて設定してください。 IP: 数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ネットマスク: 該当するビット数を選択してください。	固定IPアドレス ネットマスク (IPv4 のみ)	IPアドレス: 192.168.1.24 ネットマスク: 24 ビット (255.255.255.0)
デフォルト ゲートウェイ	接続されるネットワークのデフォルトゲートウェイIPアドレスを設定します。 ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ・デフォルトゲートウェイが無い場合には、設定不要です。 ・設定を削除する場合は空欄にしてください。	IPアドレス (IPv4 のみ)	192.168.1.1
端末名	端末名を設定します。 (設定画面の表示用として使用されます) ・先頭は英字のみ設定可能です。 (数字、ハイフン、ピリオドは設定不可) ・末尾は英数字のみ設定可能です。 (ハイフン、ピリオドは設定不可) (記述例 abc-123) 無記述時は機種名が表示されます。	最大 20 文字 半角英数字 “ - ” (ハイフン) “ . ” (ピリオド)	機種名が表示されます
HTTPポート 番号	設定画面に接続するためのHTTPサーバポート番号を設定します。 セキュリティ上、設定画面へのアクセスを拒否したい場合は「0」を設定してください。	0~65535	8084

項目名	説明	設定可能値	出荷時設定
NTPサーバ IPアドレス	時刻同期に使用するNTPサーバのIPアドレスを設定します。 NTPサーバ同期間隔の設定も必要です。 ※ドメイン名での設定はできません。	IPアドレス (IPv4のみ)	未設定
NTPサーバ 同期間隔	時刻同期を行う間隔を設定します。 本パラメータ未設定時はNTPによる時刻同期を行いません。	1~24 単位:時間	未設定

MCS401 システム設定ファイル (syscnfg.ini)

MCS401 のシステムに関する設定ファイルです。
 パラメータの記述方法と編集ルールは CCS401 と同様です。
 設定できるパラメータは下表の通りです。

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
MCH_IP	<p>マルチキャスト一斉同報を行う時の呼び制御用IPアドレスを設定します。 クラスDを使用してください。</p> <p>MCS401 からマルチキャスト一斉同報を受信する全てのLANdeVOICE端末を同じ設定にしてください。 設定が異なると放送を受信できません。</p> <p>マルチキャスト一斉同報の音声通信用IPアドレスは、本パラメータで設定したIPアドレスの第 4 オクテットに+1した値で順番に使用されます。 例) MCH_IP 224.129.65.33 の場合 224.129.65.34、224.129.65.35、…と使用される。</p> <p>(記述例 MCH_IP 224.129.65.33)</p>	IPアドレス (クラスD、IPv4のみ)	224.129.65.33 ※MTSV-aの 出荷時設定 と同じ
MCH_PORT	<p>マルチキャスト一斉同報を行う時の呼び制御用ポート番号を設定します。</p> <p>MCS401 からマルチキャスト一斉同報を受信する全てのLANdeVOICE端末を同じ設定にしてください。 設定が異なると放送を受信できません。</p> <p>(記述例 MCH_PORT 5000)</p>	1~65535	5000
MCS_TYPE	<p>マルチキャスト一斉同報サーバの放送プロトコルを設定します。</p> <p>0: 放送受信端末がKA02、SP401 の場合 (MTSV-a) 1: 放送受信端末がPBSPシリーズ、SP401 の場合 (MTSV)</p> <p>※SP401 は設定により変更可能です。</p> <p>(記述例 MCS_TYPE 0)</p>	0 1	0

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
PSRV_SOCKET	<p>CCS401 端末管理システムのIPアドレスとポート番号を設定します。 ポート番号 8080 は固定値です。変更はできません。</p> <p>【記述方法】 PSRV_SOCKET <CCS401 のIPアドレス>:8080</p> <p>※本パラメータを設定しないとマルチキャストー斉同報を行うことができません。</p> <p>(記述例 PSRV_SOCKET 192.168.1.100:8080)</p>	IPアドレス (IPv4 のみ) :8080	未設定
TCH_BASE	<p>マルチキャストー斉同報を行う時の音声通信用ポート番号を設定します。</p> <p>設定値を基準に+2 ずつ値が増え、最大 20 ポート使用します。 例)TCH_BASE 5002 の場合 5002~5042 の範囲で最大 20 ポート使用する。</p> <p>※MCH_PORTと異なる値を設定してください。</p> <p>(記述例 TCH_BASE 5002)</p>	1~65535	5002

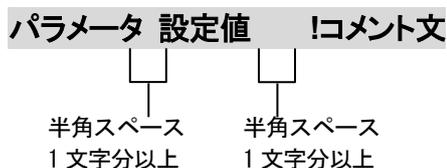


注意 「PSRV_SOCKET」について

パラメータ「PSRV_SOCKET」を設定しないとCCS401 に接続できず、マルチキャストー斉同報を行うことができません。
必ず「PSRV_SOCKET」を設定してください。

CCS401 システム設定ファイル (syscnfg.ini)

CCS401 のシステムに関する設定ファイルです。
 パラメータの記述方法と編集ルールは以下の通りです。



<編集ルール>

- 設定値は必ず記述してください。未記述にすると、正常に動作しない場合があります。
- パラメータ名と設定値は必ず 1 行で記述してください。
- パラメータ名と設定値は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。
 「!(半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字及び半角文字が使用可能です。
 また、行頭に「！」が付いている行の設定は無効になります。

CCS401 のシステム設定ファイル(syscnfg.ini)に設定できるパラメータは下表の通りです。

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
MCS_IP	MCS401 のIPアドレスを設定します。 本パラメータのコメント文の内容がCCS401 端末管理システムWeb画面の「端末状態確認」タブにMCS401 の名称として表示されます。 ※本パラメータを設定しないとマルチキャスト同期を行うことができません。 (記述例 MCS_IP 192.168.1.200)	IPアドレス (IPv4 のみ)	未設定



注意 MCS401 の IP アドレス登録について

パラメータ「MCS_IP」を設定しないと、CCS401 の端末管理システムWeb画面で「マルチキャスト」タブが表示されず、マルチキャストに関する設定ができません。必ず「MCS_IP」を設定してください。

第5章 LANdeVOICE 端末の設定

一斉同報を行うために、LANdeVOICE 端末へ CCS401 を登録する等、いくつかの設定をする必要があります。それらの設定内容について説明します。

※各 LANdeVOICE 端末の詳細な設定方法については、各機種取扱説明書をご覧ください。

- 同報元端末の設定
- 放送受信端末の設定

同報元端末の設定

LANdeVOICE4 シリーズ及び 2 シリーズの端末が同報元端末になることができます。

同報元端末には以下のような設定を行います。

※詳細な設定方法については、各機種取扱説明書をご参照ください。

1 LANdeVOICE 端末が 4 シリーズの場合

以下の機種が該当します。

PB402、PT402、OD402、SP401

パラメータ名	設定内容
システム設定ファイル (syscnfg.ini)	
ALIVETIMER	工場出荷時設定値 3 が推奨値です。
BLOCK	CODERに合わせて設定します。
CODER	1 (G.711) または 17 (G.729A) に設定します。
SERVER	CCS401 の IP アドレスを設定します。 (例) SERVER 192.168.1.100 !コメント文
電話番号設定ファイル (phone.ini)	
IP アドレスを「SERVER」と記述します。 (記述方法) 電話番号 SERVER !コメント文	
※CCS401 の IP アドレスを記述してもかまいません。	



注意 電話番号設定について

同報元端末の phone.ini と CCS401 の 端末管理サーバの両方で登録されている電話番号の宛先 IP アドレスについては、同報元端末の phone.ini の設定が優先されます。同報元端末の phone.ini での宛先 IP アドレスを「SERVER」と記述するか、行自体をコメントアウトしてください。

※LANdeVOICE4、2 シリーズ共通

2 LANdeVOICE 端末が 2 シリーズの場合

以下の機種が該当します。

PBSP、PBSP-SIO、PBSP-BL、PB02、PT02、OD02、KA02、PAB01

パラメータ名	設定内容
基本設定ファイル (netcnfg.ini)	
BLOCK	CODERに合わせて設定します。
CODER	1(G.711)または 17(G.729A)に設定します。
DELAYMIN	CODERに合わせて設定します。
SERVER	CCS401 のIPアドレスを設定します。 (例) SERVER 192.168.1.100 !コメント文
システム設定ファイル (syscnfg.ini)	
ALIVETIMER	推奨設定値は 3 です。
電話番号設定ファイル (phone.ini)	
IPアドレスを「SERVER」と記述します。 (記述方法) 電話番号 SERVER !コメント文 ※CCS401 のIPアドレスを記述してもかまいません。	

放送受信端末の設定

以下の機種が放送受信端末になることができます。

SP401、PBSP、PBSP-SIO、PBSP-BL、KA02

放送受信端末には以下のような設定を行います。

※詳細な設定方法については、各機種の取扱説明書をご参照ください。

1 LANdeVOICE 端末が 4 シリーズの場合

以下の機種が該当します。

SP401

パラメータ名	設定内容
システム設定ファイル(syscnfg.ini)	
ALIVETIMER	工場出荷時設定値 3 が推奨値です。
MCH_IP	MCS401 のsyscnfg.iniのMCH_IPと同じ値を設定します。
MCH_PORT	MCS401 のsyscnfg.iniのMCH_PORTと同じ値を設定します。
MCS_TYPE	MCS401 の放送プロトコルを設定します。 MCS401 のsyscnfg.iniのMCS_TYPEと同じ値を設定します。
SERVER	CCS401 のIPアドレスを設定します。 (例) SERVER 192.168.1.100 !CCS401 のIPアドレス
マルチキャスト受信設定ファイル(server.ini)	
MCH	受信する放送CH番号を設定します。

2 LANdeVOICE 端末が 2 シリーズの場合

以下の機種が該当します。

PBSP、PBSP-SIO、PBSP-BL、KA02

パラメータ名	設定内容
基本設定ファイル (netcnfg.ini)	
SERVER	CCS401 の IP アドレスを設定します。 (例) SERVER 192.168.1.100 !コメント文
システム設定ファイル (syscnfg.ini)	
ALIVETIMER	推奨設定値は 3 です。
MCH_IP	MCS401 の syscnfg.ini の MCH_IP と同じ値を設定します。
MCH_PORT	MCS401 の syscnfg.ini の MCH_PORT と同じ値を設定します。
マルチキャスト受信設定ファイル (server.ini)	
MCH	受信する放送 CH 番号を設定します。

第6章 CCS401 端末管理システム

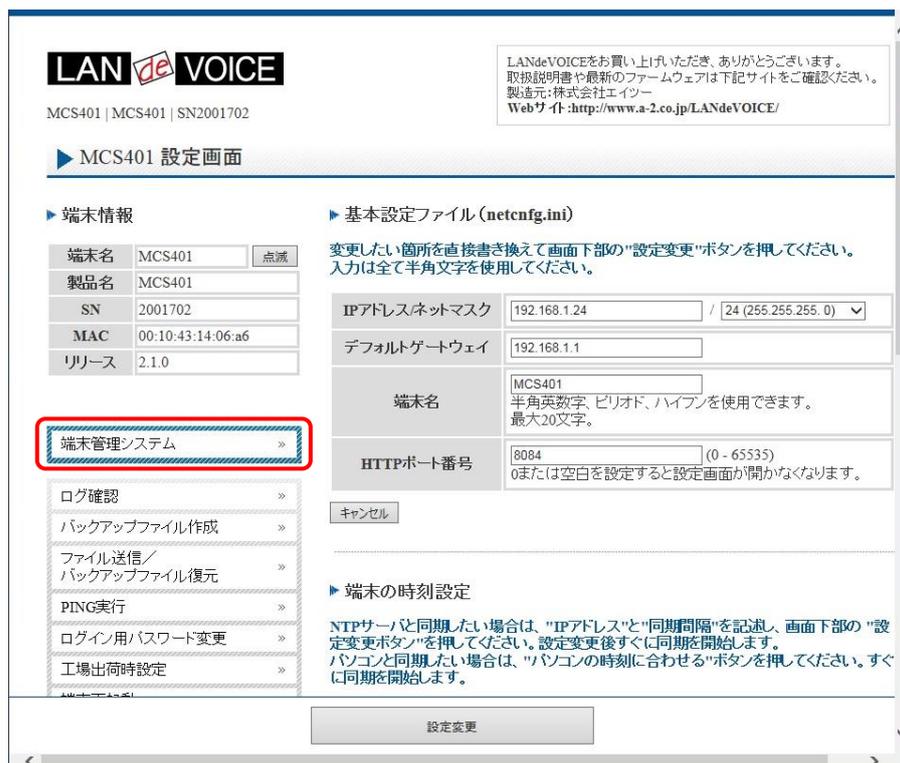
この章では、端末管理システムについて説明します。

- CCS401 端末管理システムWeb画面ログイン方法
- LANdeVOICE端末情報の登録、閲覧、編集
- 端末状態確認表示
- マルチキャスト一斉同報の設定
- CSV入力による設定

CCS401 端末管理システムWeb画面ログイン方法

CCS401 で電話番号管理や呼制御を行うための、端末管理システムWeb画面のログイン方法について説明します。

- 1 CCS401 またはMCS401 の設定画面にログインします。
- 2 端末管理システムリンクボタンをクリックします。



※WebブラウザのアドレスバーにURLを直接入力する場合は、以下を入力してください。

「http://[CCS401 のIPアドレス]:8080/LdVManager」

“ [” 及び “ ” ” は実際には不要です。

- 3 ログイン画面になったらユーザ名とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。ユーザ名とパスワードはCCS401 の設定画面にログインするためのものと同様です。

- 4 下記のような画面が表示されたら、端末管理システムWeb画面へのログイン完了です。

LANdeVOICE 端末情報 (P.44) 端末状態確認 (P.49)

マルチキャスト (P.52) CSV 入力 (P.64)

検索対象列: 電話番号 検索ワード:

検索結果 表示件数: 4件中 1-4件

動的ポート番号 端末情報変更日時

	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
1	100	0	192.168.1.90	4445	管理部 PBSP 電話機
2	200	0	192.168.1.94	4445	第1会議室 SP401 スピーカ
3	300	0	192.168.1.95	4445	第2会議室 SP401 スピーカ
4	400	0	192.168.1.96	4446	営業部 KA02 スピーカ

ページを再読み込み 端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.

メモ ページが上手く表示できない場合の対処方法

以下の項目をご確認ください

- ・ CCS401 のLEDが待機状態であるか
- ・ URL直接入力の場合、IPアドレス及びポート番号の値(8080)が適切か
IPアドレスとポート番号の間が「:」(コロン)になっているか
「LdVManager」部分の記述が正しいか

注意 画面アクセスの重複による負荷について

端末管理システムWeb画面に複数のパソコンから同時にアクセスしたり、1台のパソコンで重複して画面を開いたりすると、重複した分だけネットワークに負荷がかかります。同時アクセスは2台までを推奨します。また、1台のパソコンで重複して開かないようご注意ください。

LANdeVOICE端末情報の登録、閲覧、編集

「LANdeVOICE端末情報」タブは、端末管理システムWeb画面ログイン時に開かれているタブです。このタブでは、LANdeVOICE端末の情報を登録、閲覧、編集することができます。

1 一覧

ログイン時または「LANdeVOICE端末情報」タブを開いた時に表示される画面です。CCS401 を呼制御サーバとして登録している全LANdeVOICE端末の情報を閲覧できます。

The screenshot shows the 'LANdeVOICE端末情報' (LANdeVOICE Terminal Information) page. It includes a navigation bar with tabs for 'LANdeVOICE端末情報', 'マルチキャスト', 'CSV入力', and '端末状態確認'. Below the navigation bar are buttons for '一覧' (List) and '登録' (Register). A search form is present with a dropdown for '検索対象列' (Search Target Column) set to '電話番号' (Phone Number) and a search button. Below the search form, there are checkboxes for '動的ポート番号' (Dynamic Port Number) and '端末情報変更日時' (Terminal Information Change Date/Time). A table displays terminal information with columns for '電話番号' (Phone Number), 'シリアル番号' (Serial Number), 'IPアドレス' (IP Address), 'ポート番号' (Port Number), and 'コメント' (Comment). Each row has a '変更' (Change) button. At the bottom, there are pagination controls and a 'ページを再読み込み' (Refresh Page) button. The footer contains the text '端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.'

① 端末の新規登録
② 検索フォーム
③ オプション項目の表示 / 非表示切替
④ 項目別にソート
⑤ 端末情報の変更
⑥ ページ再読み込み
⑦ ページ送り

メモ 端末のIPアドレス表示について

- ・ 固定IP (P.46、47 参照) の場合、設定したIPアドレスが表示されます。
- ・ 動的IP (P.46、47 参照) の場合、端末の現在のIPアドレスが表示されます。
35分以上通信できなかった場合、及びIPアドレスリセット時(P.65参照)に端末からステータス通知が来るまでの間は「切断」と表示されます。
※固定IPの場合は「切断」表示がされません。
- ・ 端末のリアルタイムの通信状態は「端末状態確認」タブで確認してください。

<各部解説>

①端末の新規登録

クリックすると、「LANdeVOICE 端末情報登録」画面(P.46 参照)が表示されます。

②検索フォーム

「一覧」に表示する端末の条件を絞り込みできます。

「検索対象列」で指定した列に「検索ワード」で入力した文字が含まれている端末のみを表示させます。

・「検索対象列」は以下のいずれかから選択できます。

「電話番号」「シリアル番号」「IP アドレス」「ポート番号」「コメント」

・検索ワードの入力可能文字

電話番号	半角数字、" 未登録 "
シリアル番号	半角数字
IP アドレス	半角数字、"."(ピリオド)、" 切断 "
ポート番号	半角数字
コメント	半角全角文字、記号

③オプション項目の表示 / 非表示切替

チェックボックスをクリックすると、オプション項目列の表示、非表示を切り替えることができます。

・端末情報変更日時：最後に端末情報を変更した日時が表示されます。

・動的ポート番号：ポート番号が「動的ポート番号」で登録されている端末にチェックが入ります。

④項目別にソート

ソート可能な項目名はクリックできるようになっています。クリックすると、各項目の列で表示結果をソートします。

ソート順はクリックのたび、昇順、降順 の順で切り替わります。

出荷時状態では電話番号の昇順でソートされています。

⑤端末情報の変更

クリックすると、端末情報変更画面(P.48 参照)が表示されます。

⑥ページ再読み込み

クリックすると、検索条件、ソート条件、ページ送りを保ったままページを再読み込みします。

⑦ページ送り

表示結果のページ送りができます。

2 登録

P.44 の①のボタンをクリックすると、「LANdeVOICE端末情報登録」画面が表示され、端末情報の新規登録を行うことができます。

ここでは、CCS401 に接続予定のLANdeVOICE端末の情報を事前に登録します。

端末が固定IPの場合：電話番号、IPアドレス、ポート番号

端末が動的IPの場合：電話番号、シリアル番号、ポート番号

※赤字、赤枠は入力必須項目です。

LANdeVOICE端末情報登録

LANdeVOICE端末の登録を行います

IPアドレスを入力してください
ポート番号を入力してください

電話番号	<input type="text"/>
IPアドレス	固定IP <input type="text"/>
ポート番号	固定ポート番号 <input type="text"/>
コメント	<input type="text"/>

実行 閉じる

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、下記のような確認ダイアログが表示されます。ここで「OK」ボタンをクリックすると、登録が完了します。

登録された端末情報は即座に反映されます。

LANdeVOICE端末情報登録

LANdeVOICE端末の登録を行います

電話番号	<input type="text" value="500"/>
IPアドレス	固定IP <input type="text" value="192.168.1.97"/>
ポート番号	固定ポート番号 <input type="text" value="4445"/>
コメント	<input type="text" value="第3会議室 SP401 スピーカ"/>

よろしいですか?

OK キャンセル

実行 閉じる

🏠 メモ 登録時のエラーについて

- ・入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで登録を実行できません。
- ・LANdeVOICE端末の登録件数が 800 件を超える場合、「実行」ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示されます。

<各項目欄解説>

電話番号

登録する端末を呼び出すための電話番号を設定します。

- ・半角数字の他、" [] "(省略)や" < > "(追加)等、LANdeVOICE 端末の電話番号設定ファイル(phone.ini)にて記述可能な文字、表記を入力することができます。
- ・23 桁まで入力可能です。
- ・電話番号を入力せず登録を実行した場合、「一覧」では「未登録」と表示されます。

IP アドレス

登録する端末の IP アドレスを入力します。

- ・固定 IP / 動的 IP を選択します。
- ・固定 IP の場合に IP アドレスを入力します。

シリアル番号

※IP アドレスで動的 IP を選択すると入力欄が表示されます。

登録する端末のシリアル番号を入力します。

- ・半角数字のみ入力可能です。
- ・先頭の「0」は省略されて画面表示されます。

例) 入力シリアル番号 0410608 → 画面表示シリアル番号 410608

※固定 IP の場合は画面表示は「0」となります。

ポート番号(登録する端末のパラメータ「CCH」参照)

登録する端末で使用するポート番号の設定をします。

ポート番号は登録する端末のパラメータ「CCH」の値です(メモ参照)。

- ・固定ポート番号 / 動的ポート番号 を選択します。
- ・通常は固定ポート番号を選択し、使用するポート番号を入力します。
0~65535 の半角数字のみ入力可能です。

※動的ポート番号は動的 IP 時のみ設定できます。動的ポート番号にすると、端末からのステータス通知の際に CCH の値を自動的に反映します。すなわち 1 回線目のポート番号しか表示できないため、2 回線を使用する場合は必ず固定ポート番号を設定してください。

コメント

登録する端末に関するコメントを自由に入力できます。

- ・半角全角 30 文字まで入力可能です。



メモ 2 回線モデル端末で 2 回線とも使用する場合の設定

- ・2 件に分けて考え、異なる電話番号と同じ IP アドレスまたはシリアル番号を設定します。
- ・1 回線分登録後の確認画面で「続けて別回線を登録する」ボタンをクリックすると 2 回線目の登録が簡単にできます。
- ・ポート番号に CCH の値を入力した方が 1 回線目(ch.1)、CCH の値 + 1 を入力した方が 2 回線目(ch.2)になります。

3 変更

P.44 の⑤のボタンをクリックすると、「LANdeVOICE端末情報変更」画面が表示され、登録済みの端末情報の変更を行うことができます。

LANdeVOICE端末情報変更

LANdeVOICE端末情報の変更を行います

	変更前	変更後
電話番号	100	<input type="text" value="500"/>
IPアドレス	固定IP 192.168.1.90	<input type="text" value="動的IP"/> ▼
シリアル番号	0	<input type="text" value="410608"/>
ポート番号	固定ポート番号 4445	<input type="text" value="固定ポート番号"/> ▼ <input type="text" value="4446"/>
コメント	管理部 PBSP 電話機	<input type="text" value="管理部 PBSP マイク・スピーカ"/> ×

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、変更が完了します。変更後の端末情報は即座に反映されます。

各項目欄についての詳細は、「LANdeVOICE端末情報登録」画面とほぼ同様です。

■削除

「LANdeVOICE端末情報変更」画面で「削除」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、該当の端末情報が即座に削除されます。

一度削除した端末情報は元に戻すことができません。

メモ 変更時のエラーについて

入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで変更を実行できません。

メモ 新規登録前の端末接続について

- ・新規登録の前に端末を接続すると、端末管理システムには自動的に電話番号未登録/動的IP設定でテーブルが追加されます。このテーブルは変更画面にて電話番号登録をすることができます。
- ・変更画面で電話番号登録をすると、登録後の確認画面で「続けて別回線を登録する」ボタンが表示されます。2回線モデル端末で2回線とも使用する場合はこのボタンをクリックすると2回線目の登録が簡単にできます(固定ポート番号に設定する必要があります)。

端末状態確認表示

「端末状態確認」タブをクリックすると、Web ブラウザの新規タブまたはウィンドウが開きます。このタブでは、端末管理システムに登録された LANdeVOICE 端末及び CCS401・MCS401 の通信状態を確認することができます。

①CCS401・MCS401 の通信ステータス ③オプション項目の表示 / 非表示切替

②検索フォーム

④項目別にソート

端末状態確認
LANdeVOICE端末および各サーバの通信状態を確認できます

各サーバのステータス

	通信ステータス	IPアドレス	ポート番号
CCS401	● 正常	192.168.1.93	4445
MCS401	● 正常	192.168.1.91	4445

検索対象列: 電話番号 ▼ 検索ワード:

正常端末を表示する 異常端末を表示する

検索結果 表示件数: 4件中 1-4件

接続/切断日時 動的ポート番号

	通信ステータス	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
1	● 通話中	100	0	192.168.1.90	4445	管理部 PBSP 電話機
2	● 通話中	200	0	192.168.1.94	4445	第1会議室 SP401 スピーカ
3	● 待機中	300	0	192.168.1.95	4445	第2会議室 SP401 スピーカ
4	● 異常	400	0	192.168.1.96	4446	営業部 KA02 スピーカ

最初のページへ 一つ前へ 1 一つ次へ 最後のページへ

端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.

⑤端末の通信ステータス

⑥ページ再読み込み

⑦ページ送り



注意 タブの重複について

「端末状態確認」タブを重複して開くと、その分ネットワークに負荷がかかります。極力重複しないようご注意ください。

<各部解説>

①CCS401・MCS401 の通信ステータス

CCS401・MCS401 の通信状態が表示されます。通信状態は 5 秒毎に自動更新されます。色表示と通信状態の関係は以下の通りです。

色表示	表示内容	CCS401 の状態
緑点灯	正常	利用可能
赤点灯	異常	システム異常
	HTTP エラー	CCS401 と Web ブラウザ間で HTTP 通信が行えていない 一度端末管理システムを閉じ、再度 CCS401 設定画面から端末管理システムを起動してください。画面が表示できなければ、CCS401 の接続状況を LED 等で確認してください。

②検索フォーム

「一覧」に表示する端末の条件を絞り込みできます。

「検索対象列」で指定した列に「検索ワード」で入力した文字が含まれている端末のみを表示させます。

・「検索対象列」は以下のいずれかから選択できます。

「電話番号」「シリアル番号」「IP アドレス」「ポート番号」「コメント」

・検索ワードの入力可能文字

電話番号	半角数字、" 未登録 "
シリアル番号	半角数字
IP アドレス	半角数字、"."(ピリオド)、" 切断 "
ポート番号	半角数字
コメント	半角全角文字、記号

・「正常端末を表示する」にチェックを入れると、通信ステータスが「正常」、「通話中」の端末を表示します。

・「異常端末を表示する」にチェックを入れると、通信ステータスが「異常」の端末を表示します。

③オプション項目の表示 / 非表示切替

チェックボックスをクリックすると、オプション項目列の表示、非表示を切り替えることができます。

・接続 / 切断日時: 接続中の場合は端末が最後に接続を開始した日時が、切断中の場合は端末が切断した日時が表示されます。

・動的ポート番号: ポート番号が「動的ポート番号」で登録されている端末にチェックが入ります。

④項目別にソート

ソート可能な項目名はクリックできるようになっています。クリックすると、各項目の列で表示結果をソートします。

ソート順はクリックのたび、昇順、降順 の順で切り替わります。

出荷時状態では電話番号の昇順でソートされています。

⑤端末の通信ステータス

端末の通信状態が表示されます。

通信ステータスとその他の端末情報は自動更新されます。

色表示と通信状態の関係は以下の通りです。

色表示	表示内容	端末の状態
緑点灯	待機中	待機状態。該当端末に対して発信可能
橙点灯	通話中	通話状態
赤点灯	異常	ネットワークから切断されている
	削除された端末です	登録が削除された状態 ※削除後、ページを再読み込みするまで表示
	HTTP エラー	CCS401 と Web ブラウザ間で HTTP 通信が行えていない 一度端末管理システムを閉じ、再度 CCS401 設定画面から端末管理システムを起動してください。画面が表示できなければ、CCS401 の接続状況を LED 等で確認してください。

⑥ページ再読み込み

クリックすると、検索条件、ソート条件、ページ送りを保ったままページを再読み込みします。

⑦ページ送り

表示結果のページ送りができます。

マルチキャスト一斉同報の設定

「マルチキャスト」タブでは、マルチキャスト一斉同報の設定を行います。

1 放送チャンネル一覧

「マルチキャスト」タブを開いた時に表示される画面です。登録された一斉同報の全放送CHの情報を閲覧できます。

The screenshot shows the 'Broadcast Channel List' interface. At the top, there are tabs for 'LANdeVOICE 端末情報', 'マルチキャスト', 'CSV入力', and '端末状態確認'. Below the tabs are buttons for 'チャンネル一覧', 'チャンネル登録', 'チャンネルグループ一覧', 'チャンネルグループ登録', and '開始音・終了音名変更'. A table displays the list of channels with columns for '電話番号', 'チャンネル名', 'チャンネル番号', '優先度', '開始音', '終了音', and '最終更新日時'. A 'ページを再読み込み' button is located at the bottom left. Numbered callouts (1-7) point to specific elements: 1 points to the 'チャンネル登録' button; 2 points to the 'チャンネル名' column header; 3 points to the 'チャンネルグループ一覧' button; 4 points to the 'チャンネルグループ登録' button; 5 points to the '開始音・終了音名変更' button; 6 points to the '変更' buttons in the table; 7 points to the 'ページを再読み込み' button.

①放送チャンネルの新規登録

②項目別にソート

③放送チャンネルグループ一覧

④放送チャンネルグループの登録

⑤開始音・終了音名の変更

⑥放送チャンネル情報の変更

⑦ページ再読み込み

	電話番号	チャンネル名	チャンネル番号	優先度	開始音	終了音	最終更新日時
1	9999	社内一斉放送	1	1	サイレン	チャイム129	2018-04-13 17:27:25
2	8888	会議室	2	10	チャイム1	チャイム130	2018-04-13 17:27:11
3	7777	営業部	3	50	なし	なし	2018-04-13 17:27:52

端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.

<各部解説>

①放送チャンネルの新規登録

クリックすると、「マルチキャスト放送チャンネル情報登録」画面(P.54 参照)が表示されます。

②項目別にソート

ソート可能な項目名はクリックできるようになっています。クリックすると、各項目の列で表示結果をソートします。

ソート順はクリックのたび、昇順、降順 の順で切り替わります。

出荷時状態では電話番号の昇順でソートされています。

③放送チャンネルグループ一覧

クリックすると、登録されている放送チャンネルグループの一覧が表示されます(P.58 参照)。

④放送チャンネルグループの登録

クリックすると、「マルチキャスト放送チャンネルグループ登録」画面が表示されます(P.60 参照)。

⑤開始音・終了音名の変更

クリックすると、「マルチキャスト放送開始音・終了音名変更」画面が表示されます(P.63 参照)。

⑥放送チャンネル情報の変更

クリックすると、「マルチキャスト放送チャンネル情報変更」画面(P.57 参照)が表示されます。

⑦ページ再読み込み

クリックするとソート条件を保ったままページを再読み込みします。

2 放送チャンネルの新規登録

P.52 の①の登録ボタンをクリックすると、「マルチキャスト放送チャンネル情報登録」画面が表示され、マルチキャスト一斉同報の新規放送CH登録を行うことができます。

※赤字、赤枠は入力必須項目です。

※画面が全て表示されていない場合はスクロールしてください。

マルチキャスト放送チャンネル情報登録

マルチキャスト放送チャンネルの登録を行います

電話番号を入力してください
チャンネル名を入力してください
チャンネルIDを入力してください
優先度を入力してください

電話番号	<input type="text" value="半角数字を入力してください"/>
チャンネル名	<input type="text" value="入力してください(最大30文字)"/>
チャンネル番号	<input type="text" value="1~255の半角数字を入力してください"/>
優先度	<input type="text" value="1~255の半角数字を入力してください"/>
開始音	<input type="text" value="なし"/> ▼
終了音	<input type="text" value="なし"/> ▼

実行 閉じる

メモ 登録時のエラーについて

- ・入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで登録を実行できません。
- ・マルチキャスト放送CHの登録数が 255 放送CHを超える場合、「実行」ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示されます。

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、下記のような確認ダイアログが表示されます。ここで「OK」ボタンをクリックすると、登録が完了します。
登録された放送CH情報は即座に反映されます。

マルチキャスト放送チャンネル情報登録

マルチキャスト放送チャンネルの登録を行います

電話番号	9999
チャンネル名	社内一斉放送
チャンネル番号	1
優先度	1
開始音	サイレン <input type="button" value="试听する"/>
終了音	チャイム129 <input type="button" value="试听する"/>

よろしいですか？

<各項目欄解説>

電話番号

登録する放送 CH を呼び出すための電話番号を設定します。

- ・半角数字のみ
- ・23 桁まで入力可能です。

チャンネル名

登録する放送 CH の名称を設定します。

- ・半角全角 30 文字まで入力可能です。

チャンネル番号

放送受信端末の server.ini に設定するチャンネル番号(MCH)を設定します。

- ・半角数字のみ
- ・1～255

優先度

放送 CH の放送優先度を設定します。

複数の放送 CH を同時に受信した端末については、優先度がより高い放送 CH が放送されます。

- ・半角数字のみ
- ・1～255

開始音

一斉同報の開始時に再生する音を選択します。

- ・チャイム 1～10(出荷時の名称)
- ・なし(無音)

※開始音の名称は「マルチキャスト放送開始音・終了音名変更」にて変更できます。

※「なし」以外を選択すると音源を試聴できます。

終了音

一斉同報の開始時に再生する音を選択します。

- ・チャイム 129～138(出荷時の名称)
- ・なし(無音)

※終了音の名称は「マルチキャスト放送開始音・終了音名変更」にて変更できます。

※「なし」以外を選択すると音源を試聴できます。



注意 開始音・終了音について

MCS401 と放送受信端末の両方に同じ音源ファイルがインストールされている必要があります。詳細についてはP.12 を参照してください。

3 放送チャンネル情報の変更

P.52 の⑥の変更ボタンをクリックすると、「マルチキャスト放送チャンネル情報変更」画面が表示され、登録済みの放送CH情報の変更を行うことができます。
※画面が全て表示されていない場合はスクロールしてください。

マルチキャスト放送チャンネル情報変更

マルチキャスト放送チャンネルの登録情報を変更します

	変更前	変更後
電話番号	9999	<input type="text" value="8888"/>
チャンネル名	社内一斉放送	<input type="text" value="会議室"/>
チャンネル番号	1	<input type="text" value="2"/>
優先度	1	<input type="text" value="10"/>
開始音	サイレン	<input type="text" value="チャイム1"/> <input type="checkbox"/> 試験する
終了音	チャイム129	<input type="text" value="チャイム130"/> <input type="checkbox"/> 試験する

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、変更が完了します。
変更後の放送放送CH情報は即座に反映されます。

各項目欄についての詳細は、「マルチキャスト放送チャンネル情報登録」画面と同様です。

■削除

「マルチキャスト放送チャンネル情報変更」画面で「削除」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、該当の放送CH登録が即座に削除されます。
一度削除した放送CH登録は元に戻すことができません。

メモ 変更時のエラーについて

入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで変更を実行できません。

4 放送チャンネルグループ一覧

「マルチキャスト」タブでP.52 の③のボタンをクリックした時に表示される画面です。登録された一斉同報の全放送CHグループを閲覧できます。

表示件数：1件

	電話番号	グループ名	登録放送チャンネル
1	5000	会議室・営業部	会議室 [2] 営業部 [3]

ページを再読み込み

端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.

⑧項目別にソート

⑨ページ再読み込み

⑩放送チャンネルグループの変更



メモ 放送チャンネルグループの開始音・終了音について

放送チャンネルグループを登録すると、開始音・終了音は各放送CHに設定されているものが再生されます。

再生時間が一番長いものに合わせて放送が開始されます。

<各部解説>

⑧項目別にソート

ソート可能な項目名はクリックできるようになっています。クリックすると、各項目の列で表示結果をソートします。

ソート順はクリックのたび、昇順、降順 の順で切り替わります。

出荷時状態では電話番号の昇順でソートされています。

⑨ページ再読み込み

クリックするとソート条件を保ったままページを再読み込みします。

⑩放送チャンネルグループの変更

クリックすると、「マルチキャスト放送チャンネルグループ変更」画面(P.62 参照)が表示されます。

5 放送チャンネルグループの登録

P.52 の④の登録ボタンをクリックすると、「マルチキャスト放送チャンネルグループ登録」画面が表示され、複数の放送CHのグループ化を行うことができます。

※赤字、赤枠は入力必須項目です。

※画面が全て表示されていない場合はスクロールしてください。

マルチキャスト放送チャンネルグループ登録

同じ放送を流したい複数の放送チャンネルをグループ化します

電話番号を入力してください
チャンネルグループ名を入力してください

電話番号	半角数字を入力してください
グループ名	入力してください(最大30文字)

右のリストからグループ化するチャンネルを選択してください(0/20)

<<更新(1/1)>>

社内一斉放送 [1] / 優先度:1
会議室 [2] / 優先度:10
営業部 [3] / 優先度:50

✕ 取り消す← 追加する

実行閉じる



メモ 登録時のエラーについて

- ・入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで登録を実行できません。
- ・選択した放送CHが 20 放送CH(チャンネル番号 1 を含む)を超える場合、「追加する」ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示されます。
- ・放送CHグループの登録数が 10 グループを超える場合、「実行」ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示されます。

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、下記のような確認ダイアログが表示されます。ここで「OK」ボタンをクリックすると、登録が完了します。
登録された放送CH情報は即座に反映されます。

マルチキャスト放送チャンネルグループ登録

同じ放送を流したい複数の放送チャンネルをグループ化します

電話番号	5000
グループ名	会議室・営業部

右のリストからグループ化するチャンネルを選択してください(2/20)

会議室 [2] / 優先度:10
営業部 [3] / 優先度:50

<< 更新(1/1) >>

社内一斉放送 [1] / 優先度:1
会議室 [2] / 優先度:10
営業部 [3] / 優先度:50

よろしいですか？

✕ 取り消す
← 追加する

<各項目欄解説>

電話番号

登録する放送 CH グループを呼び出すための電話番号を設定します。

- ・半角数字のみ
- ・23 桁まで入力可能です。

グループ名

登録する放送 CH グループの名称を設定します。

- ・半角全角 30 文字まで入力可能です。

6 放送チャンネルグループの変更

P.58 の⑩の変更ボタンをクリックすると、「マルチキャスト放送チャンネルグループ変更」画面が表示され、登録済みの放送CHグループの変更を行うことができます。

※画面が全て表示されていない場合はスクロールしてください。

マルチキャスト放送チャンネルグループ変更

放送チャンネルグループの登録を変更します

	変更前	変更後
電話番号	5000	<input style="width: 90%;" type="text" value="6000"/> ×
グループ名	会議室・営業部	<input style="width: 90%;" type="text" value="会議室・営業部"/>

右のリストからグループ化するチャンネルを選択してください(2/20)

会議室 [2] / 優先度:10
営業部 [3] / 優先度:50

<< 更新(1/1) >>

社内一斉放送 [1] / 優先度:1
会議室 [2] / 優先度:10
営業部 [3] / 優先度:50

✕ 取り消す
← 追加する

削除
実行
閉じる

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、変更が完了します。変更後の放送CHグループは即座に反映されます。

各項目欄についての詳細は、「マルチキャスト放送チャンネルグループ登録」画面と同様です。

■削除

「マルチキャスト放送チャンネルグループ変更」画面で「削除」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、該当の放送CHグループ登録が即座に削除されます。

一度削除した放送CHグループ登録は元に戻すことができません。



メモ 変更時のエラーについて

入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで変更を実行できません。

7 開始音・終了音名の変更

P.52 の⑤の変更ボタンをクリックすると、「マルチキャスト放送開始音・終了音名変更」画面が表示され、放送で再生する開始音や終了音の名称の変更を行うことができます。

※画面が全て表示されていない場合はスクロールしてください。

マルチキャスト放送開始音・終了音名変更

マルチキャスト放送で再生する開始音・終了音の名称を変更します

開始音	名称	終了音	名称
1.wav	<input type="text" value="サイレン1"/>	129.wav	<input type="text" value="チャイム129"/>
2.wav	<input type="text" value="サイレン2"/>	130.wav	<input type="text" value="チャイム130"/>
3.wav	<input type="text" value="チャイム1"/>	131.wav	<input type="text" value="チャイム131"/>
4.wav	<input type="text" value="チャイム2"/>	132.wav	<input type="text" value="チャイム132"/>
5.wav	<input type="text" value="チャイム3"/>	133.wav	<input type="text" value="チャイム133"/>
6.wav	<input type="text" value="チャイム4"/>	134.wav	<input type="text" value="チャイム134"/>
7.wav	<input type="text" value="チャイム5"/>	135.wav	<input type="text" value="チャイム135"/>
8.wav	<input type="text" value="チャイム6"/>	136.wav	<input type="text" value="チャイム136"/>
9.wav	<input type="text" value="チャイム7"/>	137.wav	<input type="text" value="チャイム137"/>
10.wav	<input type="text" value="チャイム8"/>	138.wav	<input type="text" value="チャイム138"/>

各WAVファイルの入力欄を書き換え、「実行」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、変更が完了します。

ファイル名をクリックすると音源を試聴できます。

CSV入力による設定

「CSV 入力」タブは、端末管理システムに登録する端末情報やマルチキャスト一斉同報の放送 CH 情報を CSV 形式にて一括管理することができるタブです。

初回登録時や一括編集時にはこのタブを使用することをお勧めします。開くと、現在の登録情報が全て CSV 形式で表示されます。

本設定実行時、動的 IP (P.46、47 参照) の場合は CCS401 に登録されている端末 IP アドレス情報をリセットできます。

その場合、一定時間通話が行えなくなります。各端末のパラメータ「ALIVETIMER」の値を 3 分に設定することを推奨します(第 5 章参照)。

①編集用チェックボックス

④リセットボタン

LANdeVOICE端末情報
マルチキャスト
CSV入力
端末状態確認

各フォームに情報を入力してください

LANdeVOICE端末情報 ①
②LANdeVOICE 端末情報入力フォーム

!電話番号, シリアル番号, IPアドレス, ポート番号, [PORT_ANY,] !コメント(最大30文字)
 !シリアル番号を0とした場合、固定IPアドレスの端末として登録されます。
 !PORT_ANYを記述した場合、動的ポート番号の端末として登録されます。

100, 0, 192.168.1.90, 4445, !管理部 PBSP 電話機
 200, 0, 192.168.1.94, 4445, !第1会議室 SP401 スピーカ
 300, 0, 192.168.1.95, 4445, !第2会議室 SP401 スピーカ
 400, 0, 192.168.1.96, 4446, !営業部 KA02 スピーカ

④

マルチキャスト放送チャンネル情報 ①
③マルチキャスト放送チャンネル情報入力フォーム

!電話番号, 0, MULTI, チャンネルID, 優先度, 開始音番号/終了音番号, !チャンネル名(最大30文字)

9999, 0, MULTI, 1, 1, 1/129, !社内一斉放送
 8888, 0, MULTI, 2, 10, 3/130, !会議室
 7777, 0, MULTI, 3, 50, 0/0, !営業部

④

マルチキャスト放送チャンネルグループ情報 ①
⑤マルチキャスト放送チャンネルグループ入力フォーム

!電話番号, チャンネル電話番号1, チャンネル電話番号2, ..., チャンネル電話番号N, !グループ名(最大30文字)

5000, 8888, 7777, !会議室・営業部

④

⑥データのインポート(IP アドレスリセット用チェックボックス付)

IPアドレスをリセットする

端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.

<各部解説>

①編集用チェックボックス

誤編集防止用です。チェックすると、各入力フォーム内のデータ編集が可能になります。

②LANdeVOICE 端末情報入力フォーム

直接書き換えることができます。

記述方法等については CCS401 の取扱説明書をご覧ください。

③マルチキャスト放送チャンネル情報入力フォーム

直接書き換えることができます。

記述方法等については P.66～68 をご覧ください。

④リセットボタン

クリックすると、これまでの編集がキャンセルされ、入力フォーム内のデータがタブを開いた時点のデータに書き換えられます。

⑤マルチキャスト放送チャンネルグループ入力フォーム

直接書き換えることができます。

記述方法等については P.69、70 をご覧ください。

⑥データのインポート

クリックすると、現在の入力フォームの状態が送信されます。

「IP アドレスをリセットする」チェックボックスについて

・動的 IP の場合は、CSV データ登録時、「IP アドレスをリセットする」をチェックしたうえでインポートしてください。

・チェックすると、全端末の IP アドレスが「AUTO」に書き換わり、一時的に、LANdeVOICE 端末情報タブでは「切断」表示に、端末状態確認タブでは「異常」表示になります。各 LANdeVOICE 端末からステータス通知が届くと IP アドレスが再取得され、表示が切り替わります。

※この場合、「切断」「異常」と表示されていても、実際に全端末がネットワークから切断されているわけではありません。

※各端末からステータス通知が届くまでの時間は端末ごとの ALIVETIMER の設定によります。全端末 3 分に設定することを推奨します。

インポート結果について

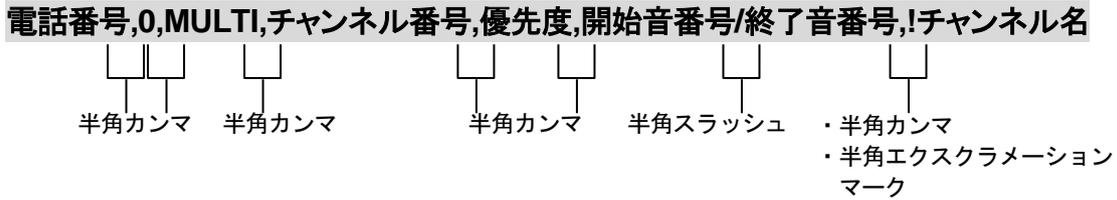
・「インポートに成功しました。」というメッセージが表示されると、データ反映完了です。その際、反映結果が入力フォームに表示されます。

・入力した内容が不適切な場合、「エラー:CSV に誤りがあります。」という表示とともに不適切な箇所が指摘され、再編集を行うことができます。この場合、データ送信は行われません。

再編集後、再度「インポート」ボタンにてデータ送信を行うことができます。また、入力フォーム下部に表示された「入力した値にリセット」ボタンをクリックすると、再編集がキャンセルされ、前回のインポート実行時のデータに書き換えられます。

1 マルチキャスト放送チャンネル情報

<記述方法>



<編集ルール>

- チャンネル名以外は必ず 1 行で記述してください。
- チャンネル名以外は半角文字で記述してください。
- 各設定項目と半角カンマとの間に半角スペースを入れることも可能ですが、インポート後は 1 文字分のスペースだけが残ります。
- 「! (半角文字)」以降がチャンネル名になります。全角文字及び半角文字が使用可能です。
- 行頭に「!」が付いている行及び空白の行は削除されるのでご注意ください。

<MTSV との互換性について>

マルチキャスト放送チャンネル情報入力フォームには MTSV の phone.tbl との互換性はありません。MTSV の phone.tbl をそのままコピー&ペーストしても正常に読み込むことができませんのでご注意ください。

MTSV からリプレースする場合は、MTSV の phone.tbl に開始音番号と終了音番号を追記します。

【MTSV】

電話番号,0,MULTI,チャンネル番号,優先度,!チャンネル名

【MCS401】

電話番号,0,MULTI,チャンネル番号,優先度,開始音番号/終了音番号,!チャンネル名

※各項目の間はカンマ区切りでもスペース区切りでもかまいませんが、必ずどちらかに統一してください。



メモ CSV 登録の便利な方法

データをExcel等で作成し、セルの内容を入力フォームへコピー&ペーストすると便利です。

<設定項目解説>

項目	説明	設定可能値
電話番号	一斉同報をするための電話番号 ※CCS401に登録されている端末の電話番号と重複しないよう注意してください	23桁までの電話番号 0~9
0	-	0(固定値)
MULTI	-	MULTI(固定値)
チャンネル番号	放送受信端末の server.ini に設定する MCH 番号	半角数字 1~255
優先度	放送 CH の放送優先度 ※複数の放送 CH を同時に受信した端末については、優先度がより高い放送 CH が放送される	半角数字 1~255
開始音番号/ 終了音番号	放送開始/終了時に再生する WAV ファイル名 開始音番号: 1~10 終了音番号: 129~138 ※拡張子を除いた部分を記述 ※ファイル名は「マルチキャスト放送開始音・終了音名変更」画面 (P.63) を参照 ※再生しない場合は 0 を記述 (記述例 1/129)	半角数字 1~10 半角スラッシュ 半角数字 129~138
チャンネル名	放送 CH の名称	半角文字、全角文字

※全項目記述必須

<CSV 入力フォーム記述例>

9999, 0, MULTI, 1, 1, 1/129,	!社内一斉放送
8888, 0, MULTI, 2, 10, 3/130,	!会議室
7777, 0, MULTI, 3, 50, 0/0,	!営業部

■解説

1 行目・・・電話番号 9999 の放送 CH

チャンネル番号: 1

優先度: 1

開始音: 1.wav / 終了音: 129.wav

2 行目・・・電話番号 8888 の放送 CH

チャンネル番号: 2

優先度: 10

開始音: 3.wav / 終了音: 130.wav

3 行目・・・電話番号 7777 の放送 CH

チャンネル番号: 3

優先度: 50

開始音/終了音: なし

2 マルチキャスト放送チャンネルグループ

<記述方法>

電話番号,チャンネル電話番号,!グループ名

□
|
半角カンマ

□
|
・半角カンマ
・半角エクスクラメーションマーク

<編集ルール>

- グループ名以外は必ず 1 行で記述してください。
- グループ名以外は半角文字で記述してください。
- 各設定項目と半角カンマとの間に半角スペースを入れることも可能ですが、インポート後は 1 文字分のスペースだけが残ります。
- 「! (半角文字)」以降がグループ名になります。全角文字及び半角文字が使用可能です。
- 行頭に「!」が付いている行及び空白の行は削除されるのでご注意ください。



メモ CSV 登録の便利な方法

データをExcel等で作成し、セルの内容を入力フォームへコピー&ペーストすると便利です。

<設定項目解説>

項目	説明	設定可能値
電話番号	グループに一齐同報をするための電話番号 ※CCS401 に登録されている端末の電話番号と重複しないよう注意してください	23 桁までの電話番号 0~9
チャンネル電話番号	グループ化する放送 CH の電話番号	23 桁までの電話番号 0~9
グループ名	放送 CH グループの名称	半角文字、全角文字

<CSV 入力フォーム記述例>

5000, 8888, 7777, !会議室・営業部

■解説

電話番号 5000 で、電話番号 8888 の会議室放送 CH と電話番号 7777 の営業部放送 CH をグループで呼び出す

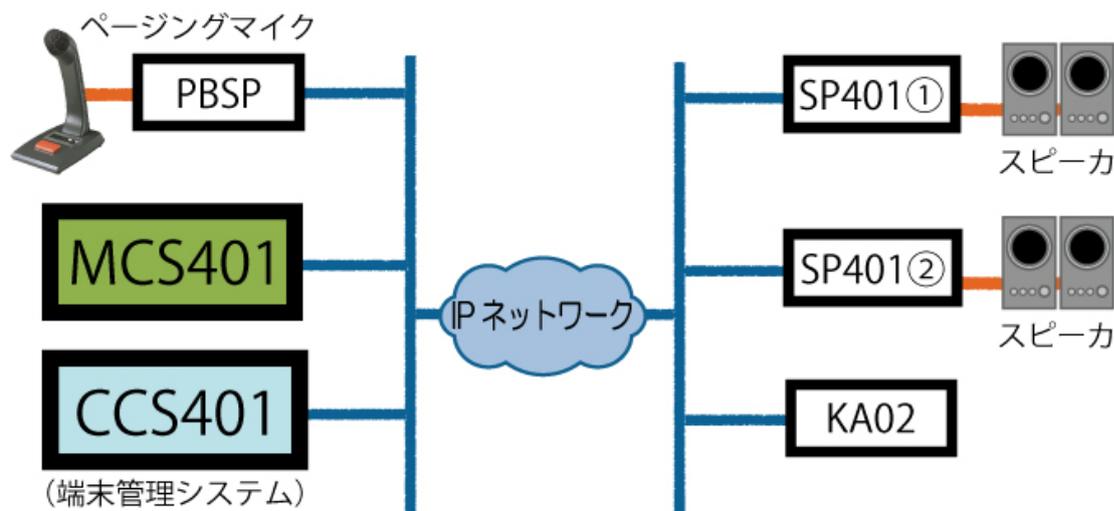
第7章 運用例

実際に MCS401 の運用を試してみましょう。

下図の構成でマルチキャスト一斉同報を試してみます。
PBSPからSP401①、SP401②、KA02 に放送をします。

チャンネル名	電話番号	チャンネル番号	受信端末
全体緊急放送	9999	1	SP401① SP401② KA02
第一会議室 SP401①	8888	2	SP401①
第二会議室 SP401②	7777	3	SP401② KA02
営業部 KA02	6666	4	KA02

※チャンネル番号 3(電話番号 7777)の本来の放送先は第二会議室ですが、
今回は営業部で第二会議室に入る放送をモニタリングしたいため、KA02 で
チャンネル番号 3 も受信する設定にします(P.73 参照)。



各端末・サーバの設定は以下のように行います。

PBSP 設定

- netcnfg.ini
CCH 4445
IP 192.168.1.90
ROUTER 192.168.1.1
SERVER 192.168.1.93
- syscnfg.ini
SPPSW TOGGLE
- phone.ini
[S01]<9999> SERVER
[S02]<8888> SERVER
[S03]<7777> SERVER
[S04]<6666> SERVER
[S05]<5555> SERVER

MCS401 設定

- netcnfg.ini
IP 192.168.1.91
ROUTER 192.168.1.1
- syscnfg.ini
MCH_IP 224.129.65.33
MCH_PORT 5000
MCS_TYPE 0
PSRV_SOCK 192.168.1.93:8080
TCH_BASE 5002

CCS401 設定

- netcnfg.ini
IP 192.168.1.93
ROUTER 192.168.1.1
- syscnfg.ini
MCS_IP 192.168.1.91

SP401①設定

- netcnfg.ini
IP 192.168.1.94
ROUTER 192.168.1.1
- syscnfg.ini
CCH 4445
MCH_IP 224.129.65.33
MCH_PORT 5000
MCS_TYPE 0
SERVER 192.168.1.93
- server.ini
MCH 1 2

SP401②設定

- netcnfg.ini
IP 192.168.1.95
ROUTER 192.168.1.1
- syscnfg.ini
CCH 4445
MCH_IP 224.129.65.33
MCH_PORT 5000
MCS_TYPE 0
SERVER 192.168.1.93
- server.ini
MCH 1 3

KA02 設定

- netcnfg.ini
CCH 4445
IP 192.168.1.96
ROUTER 192.168.1.1
SERVER 192.168.1.93
- syscnfg.ini
MCH_IP 224.129.65.33
MCH_PORT 5000
- server.ini
MCH 1 3 4

- 1 CCS401 のnetcnfg.iniとsyscnfg.iniを設定します。**
netcnfg.iniとsyscnfg.iniにP.35、73 の設定をします。その他の設定についてはCCS401 の取扱説明書を参照してください。

- 2 MCS401 のnetcnfg.iniとsyscnfg.iniを設定します。**
MCS401 のnetcnfg.iniとsyscnfg.iniにP.31～34 及び前頁の設定をします。

- 3 MCS401 に開始音・終了音のWAVファイルをインストールします。**
※出荷時は以下の音源ファイルがインストールされています。
 - 1.wav (開始音:サイレン音)
 - 2.wav (開始音:サイレン音)
 - 3.wav (開始音:チャイム音 上がり)
 - 129.wav (終了音:チャイム音 下がり)
 - 130.wav (終了音:チャイム音 下がり)
 - 131.wav (終了音:チャイム音 下がり)インストール方法についてはP.12 を参照してください。

- 4 LANdeVOICE端末を設定します。**
PBSP、SP401①、SP401②、KA02 に第5章及び前頁の設定をします。

- 5 LANdeVOICE端末に開始音・終了音のWAVファイルをインストールします。**
MCS401 と同じファイルをインストールしてください。
インストール方法については各機種取扱説明書を参照してください。

- 6 アナログ機器を接続します。**
PBSPにページングマイク、SP401①・SP401②にスピーカを接続します。

7 CCS401の端末管理システムで端末情報を登録します。

※P.46の端末情報登録画面からも登録可能ですが、今回はCSVで登録します。

端末管理システムにログインし、「CSV入力」タブを開きます。

「LANdeVOICE端末情報」のチェックを入れ、入力フォームに下記の内容を記述します。

100, 0, 192.168.1.90, 4446,	!管理部 PBSP マイク・スピーカ
200, 0, 192.168.1.94, 4445,	!第一会議室 SP401① スピーカ
300, 0, 192.168.1.95, 4445,	!第二会議室 SP401② スピーカ
400, 0, 192.168.1.96, 4446,	!営業部 KA02 内蔵スピーカ

「インポート」ボタンをクリックします。

「LANdeVOICE端末情報」タブを見ると、下記のような画面になっています。

The screenshot shows the 'LANdeVOICE端末情報' (LANdeVOICE Terminal Information) tab selected. Below the navigation tabs, there are buttons for '一覧' (List) and '登録' (Register). A search bar is present with '検索対象列: 電話番号' (Search target column: Phone number) and a search button. The search results show 4 items.

検索結果 表示件数: 4件中 1-4件					
電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント	
1 <input type="button" value="変更"/>	100	0	192.168.1.90	4446	管理部 PBSP マイク・スピーカ
2 <input type="button" value="変更"/>	200	0	192.168.1.94	4445	第一会議室 SP401① スピーカ
3 <input type="button" value="変更"/>	300	0	192.168.1.95	4445	第二会議室 SP401② スピーカ
4 <input type="button" value="変更"/>	400	0	192.168.1.96	4446	営業部 KA02 内蔵スピーカ

At the bottom of the table, there are navigation buttons: '最初のページへ' (To first page), '一つ前へ' (Previous), '1' (Current page), '一つ次へ' (Next), and '最後のページへ' (To last page). Below the table, there is a 'ページを再読み込み' (Refresh page) button and a footer: '端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.'

8 CCS401 の端末管理システムでマルチキャストの設定をします。

「マルチキャスト」タブの「開始音・終了音名変更」ボタンをクリックします。
 「マルチキャスト放送開始音・終了音名変更」画面が開くので、各WAVファイル名を任意の名称に変更します。

「CSV入力」タブに戻り、「マルチキャスト放送チャンネル情報」のチェックを入れ、

9999, 0, MULTI, 1, 1, 1/129,	!全体緊急放送
8888, 0, MULTI, 2, 50, 3/130,	!第一会議室 SP401①
7777, 0, MULTI, 3, 50, 3/131,	!第二会議室 SP401②
6666, 0, MULTI, 4, 100, 0/0,	!営業部 KA02

入力フォームに下記の内容を記述します。

「実行」ボタンをクリックします。

「マルチキャスト」タブの「チャンネル一覧」タブは下記のような画面になっています。

	電話番号	チャンネル名	チャンネル番号	優先度	開始音	終了音	最終更新日時
1	9999	全体緊急放送	1	1	サイレン1	チャイム129	2018-04-24 15:51:51
2	8888	第一会議室 SP401①	2	50	チャイム1	チャイム130	2018-04-24 15:51:51
3	7777	第二会議室 SP401②	3	50	チャイム1	チャイム131	2018-04-24 15:51:51
4	6666	営業部 KA02	4	100	なし	なし	2018-04-24 15:51:51

9 一斉同報を試します。

パターン1: 全体緊急放送

1. PBSPのセレクトスイッチを1に合わせ、プッシュスイッチを押します。
2. SP401①、SP401②、KA02 が着信し、サイレン音が各スピーカから聞こえます。
3. サイレン音が鳴り終わったら、PBSPのページングマイクのプレストークボタンを押しながら放送を開始します。
4. 放送を終了する時は、再度プッシュスイッチを押します。
5. 各スピーカからチャイム音が聞こえた後、各端末が待機状態に戻ります。

パターン2: 第二会議室(及び営業部)への放送

1. PBSPのセレクトスイッチを3に合わせ、プッシュスイッチを押します。
2. SP401②、KA02 が着信し、チャイム音が各スピーカから聞こえます。
3. チャイム音が鳴り終わったら、PBSPのページングマイクのプレストークボタンを押しながら放送を開始します。
4. 放送を終了する時は、再度プッシュスイッチを押します。
5. 各スピーカからチャイム音が聞こえた後、各端末が待機状態に戻ります。

パターン3: 営業部への放送

1. PBSPのセレクトスイッチを4に合わせ、プッシュスイッチを押します。
2. KA02 が着信し、即通話状態になります。
3. PBSPのページングマイクのプレストークボタンを押しながら放送を開始します。
4. 放送を終了する時は、再度プッシュスイッチを押します。
5. KA02 が即待機状態に戻ります。

10 放送チャンネルのグループ化をします。

「マルチキャスト」タブの「チャンネルグループ登録」ボタンをクリックします。
「マルチキャスト放送チャンネルグループ登録」画面が開くので、以下の登録を行います。

- ・電話番号：5555
- ・グループ名：会議室
- ・選択するチャンネル：
 - 「第一会議室 SP401① [チャンネル番号:2 / 優先度:50]」
 - 「第二会議室 SP401② [チャンネル番号:3 / 優先度:50]」

「マルチキャスト」タブの「チャンネルグループ一覧」タブは下記のような画面になっています。



一斉同報を試してみます。

1. PBSPのセレクトスイッチを5に合わせ、プッシュスイッチを押します。
2. SP401①、SP401②、KA02 が着信し、チャイム音が各スピーカから聞こえます。
3. チャイム音が鳴り終わったら、PBSPのページングマイクのプレストークボタンを押しながら放送を開始します。
4. 放送を終了する時は、再度プッシュスイッチを押します。
5. 各スピーカからチャイム音が聞こえた後、各端末が待機状態に戻ります。

11 放送受信端末を追加します。

端末 500 番を同報先に追加登録します。

「LANdeVOICE端末情報」タブの「登録」ボタンをクリックします。

「LANdeVOICE端末情報登録」画面が開くので、以下の登録を行います。

- ・電話番号：500
- ・IPアドレス：固定IP / 192.168.1.97
- ・ポート番号：固定ポート番号 / 4446
- ・コメント：経理部 KA02② 内蔵スピーカ

「一覧」に戻ると下記のような画面になっています。

The screenshot shows the 'LANdeVOICE端末情報' (LANdeVOICE Terminal Information) management page. It includes tabs for 'LANdeVOICE端末情報', 'マルチキャスト', 'CSV入力', and '端末状態確認'. Below the tabs are buttons for '一覧' (List) and '登録' (Register). A search bar is present with '検索対象列' (Search Target Column) set to '電話番号' (Phone Number) and a search button labeled 'Q検索'. The search results show 5 items, with the 5th item (terminal 500) highlighted. The table columns are '電話番号' (Phone Number), 'シリアル番号' (Serial Number), 'IPアドレス' (IP Address), 'ポート番号' (Port Number), and 'コメント' (Comment). The 5th row shows: 500, 0, 192.168.1.97, 4446, 経理部 KA02② 内蔵スピーカ. Navigation buttons for '最初のページへ', '一つ前へ', '1', '一つ次へ', and '最後のページへ' are visible at the bottom of the table. A footer contains 'ページを再読み込み' (Refresh page) and '端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.'

	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
1	100	0	192.168.1.90	4446	管理部 PBSP マイク・スピーカ
2	200	0	192.168.1.94	4445	第一会議室 SP401① スピーカ
3	300	0	192.168.1.95	4445	第二会議室 SP401② スピーカ
4	400	0	192.168.1.96	4446	営業部 KA02 内蔵スピーカ
5	500	0	192.168.1.97	4446	経理部 KA02② 内蔵スピーカ

KA02②を設定します。

1. netcnfg.ini、syscnfg.iniを他の受信端末同様に設定します。
2. server.iniを以下のように設定します。

MCH 1

3. 開始音・終了音のWAVファイルをインストールします。

【結果】500 番のKA02②にも一斉同報を行うことができるようになりました。

第8章 製品仕様

MCS401 の製品仕様です。

製品名	LANdeVOICE MCS401
型番	LdV4-MCS401
一斉同報	<p>最大登録電話番号数：800 件 ※CCS401 の端末管理システムの登録可能件数</p> <p>放送受信可能端末数：理論上無制限</p> <p>最大登録放送CH数：255 放送CH</p> <p>最大同時同報放送CH数：20 放送CH ※PBSPシリーズの場合 10 放送CH ※うち 1 つはチャンネル番号 1 固定</p> <p>登録可能優先度：1～255</p> <p>最大登録放送CHグループ数：10 グループ 1 グループ 20 放送CHまで ※うち 1 つはチャンネル番号 1 必須</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開始音・終了音再生機能あり ・ 端末側使用可能コーデック：G.711、G.729A
LANポート	<p>1 ポート (RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MDI/MDI-X結線自動切替 ・ IPv4 (DHCPクライアント機能非サポート) ・ IPv6 非対応
状態表示ランプ	前面：3 (STATUS、CCH、TCH)
呼制御プロトコル	LANdeVOICE方式 (独自プロトコル：IPv4+UDP)
設定方法	ネットワーク上に接続されたPC等のWebブラウザからの操作 (設定画面)、Webブラウザからのファイル転送
筐体	プラスチック筐体

<p>動作環境温度の目安 (無風状態の周囲 気温)</p>	<p>単独平置の場合 : 0°C~50°C 平置段積の場合 : 0°C~40°C</p> <p>※平置段積の場合には正規オプション品(固定金具キット)を使用し、4段重ねた場合の目安</p>	<p>注) いずれも本体のみに ついての動作環境温度</p>
<p>電源</p>	<p>ACアダプタ給電</p>	
<p>消費電力</p>	<p>最大 : 9.0W 代表値 : 1.7W (待機時)、1.8W (放送時)</p>	
<p>環境対応</p>	<p>欧州RoHS指令準拠 ※弊社独自の化学分析は行っていませんが、本指令に準拠した部材のみを製品に使用しています。</p>	
<p>外形寸法</p>	<p>199(W)×126(D)×31.5(H) mm (突起物含まず)</p>	
<p>質量</p>	<p>本体約 0.30kg</p>	
<p>付属品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ACアダプタ (1.5m) × 1 スウィッチング電源方式 <li style="padding-left: 20px;">入力 : AC100~240V (50/60Hz) <li style="padding-left: 20px;">出力 : DC 9V、1A <li style="padding-left: 20px;">対応環境温度 : 0°C~40°C ・ LANケーブル (ストレート、3m) × 1 ・ 取扱説明書 × 1 ・ 保証書 (取扱説明書内記載) × 1 ・ シリアルシール × 1 	
<p>デフォルトIPアドレス</p>	<p>192.168.1.24</p>	
<p>保証期間</p>	<p>購入後 1 年間</p>	
<p>オプション品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50°C対応ACアダプタ ・ LANdeVOICE4 固定金具キット 	

付録

付録 1 ファイル送信による設定について

付録 2 修理について

付録 3 パソコンのネットワーク設定について

付録 1 ファイル送信による設定について

各種設定ファイルの設定は、設定画面の各設定欄で直接書き換える方法だけでなく、あらかじめ作成しておいた設定ファイルをメニュー「ファイル送信／バックアップファイル復元」(P.27 参照)にてWeb上へ送信(アップロード)する方法でも行うことができます。

この方法は全種類の設定ファイルに適用可能です。

ファイル送信による設定の手順は以下の通りです。

1 以下の形式でファイルを作成します。

【ファイル名と拡張子】

基本設定ファイル:「netcnfg.ini」

システム設定ファイル:「syscnfg.ini」

【ファイル形式】

テキスト形式(「メモ帳」等のテキストエディタで作成してください)

※作成後に上記ファイル名と拡張子に変更してください。

※ファイル内のパラメータの記述方法については

「第4章 設定ファイル一覧」を参照してください。

2 作成したファイルを送信します。

メニュー「ファイル送信／バックアップファイルの復元」にて、作成した各種設定ファイルをそれぞれ参照し、送信ボタンを押します。

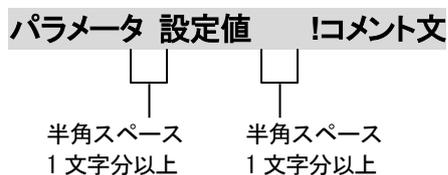
3 再起動ボタンを押し、正常に起動するまで待ちます。

※再起動中は絶対に電源を切らないでください。

■ 記述方法と編集ルール

基本設定ファイル(netcnfg.ini)の記述方法と編集ルールは以下の通りです。
※システム設定ファイル(syscnfg.ini)については設定画面と同様です。

<記述方法>



<編集ルール>

- 設定値は必ず記述してください。未記述にすると、正常に動作しない場合があります。
- パラメータ名と設定値は必ず1行で記述してください。
- パラメータ名と設定値は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。
「!(半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字及び半角文字が使用可能です。
また、行頭に「!」が付いている行の設定は無効になります。

■基本設定ファイル(netcnfg.ini)に設定可能なパラメータ

パラメータ名 (設定画面上の 項目名)	説明	設定可能値	出荷時設定
IP (IPアドレス/ ネットマスク)	MCS401 のIPアドレスとネットマスクを設定します。 ネットワークに合わせて設定してください。 IP: 数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ネットマスク: 「/」(スラッシュ)の後に ネットマスク(ビット数)を 記述してください。 (記述例 IP 192.168.1.24/24)	固定IPアドレス ネットマスク (IPv4 のみ)	192.168.1.24/24
ROUTER (デフォルト ゲートウェイ)	接続されるネットワークのデフォルトゲートウェイIPアドレスを設定します。 ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ・デフォルトゲートウェイが無い場合には、設定不要です。 ・設定を削除する場合はパラメータ名のみ 残し値を削除してください。 (記述例 ROUTER 192.168.1.1)	IPアドレス (IPv4 のみ)	192.168.1.1
TERM_NAME (端末名)	端末名を設定します。 (設定画面の表示用として使用されます) ・先頭は英字のみ設定可能です。 (数字、ハイフン、ピリオドは設定不可) ・末尾は英数字のみ設定可能です。 (ハイフン、ピリオドは設定不可) (記述例 TERM_NAME abc-123) 無記述時は機種名が表示されます。	最大 20 文字 半角英数字 “ - ”(ハイフン) “ . ”(ピリオド)	機種名が表示されます
HTTPD_PORT (HTTPポート 番号)	設定画面に接続するためのHTTPサーバポート番号を設定します。 セキュリティ上、設定画面へのアクセスを拒否したい場合は「0」を設定してください。 (記述例 HTTPD_PORT 8084)	0~65535	8084

パラメータ名 (設定画面上の 項目名)	説明	設定可能値	出荷時設定
NTP_SERVER (NTPサーバ IPアドレス)	時刻同期に使用するNTPサーバのIPアドレスを設定します。 NTP_TIMERの設定も必要です。 ※ドメイン名での設定はできません。 (関連パラメータ: NTP_TIMER) (記述例 NTP_SERVER 192.168.1.1)	IPアドレス (IPv4のみ)	未設定
NTP_TIMER (NTPサーバ 同期間隔)	時刻同期を行う間隔を設定します。 本パラメータ未設定時はNTPによる時刻同期を行いません。 (関連パラメータ: NTP_SERVER) (記述例 NTP_TIMER 24)	1~24 単位:時間	未設定

付録2 修理について

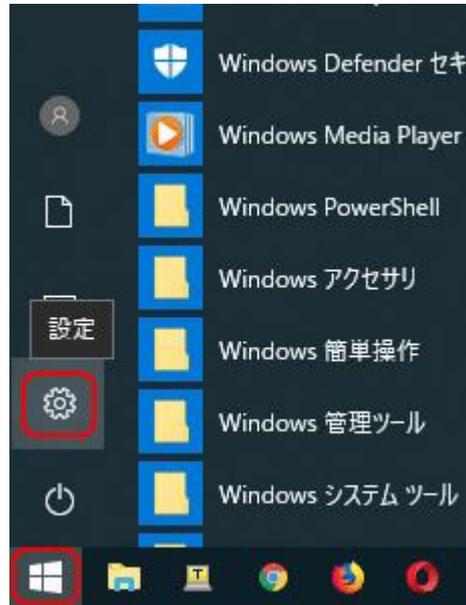
修理の前に、設定や構成を見直すことで問題が解決する場合がございます。
今一度、設定を見直して頂き、解決できない場合にはお買い求め頂いた代理店・販売店へご連絡ください。

修理については弊社Webサイトをご参照ください。
<https://www.a-2.co.jp/top/repair.html>

付録3 パソコンのネットワーク設定について

端末と接続しているパソコンのネットワーク設定を行います。
設定方法はOSによって異なりますが、ここでは弊社で動作確認したWindows 10
について記載します。

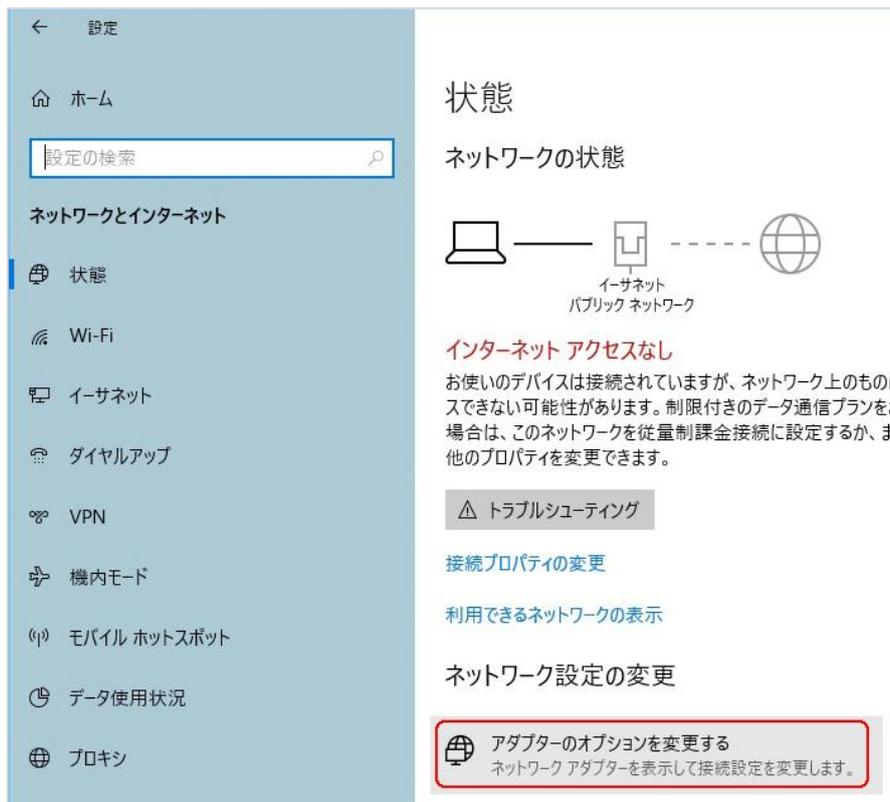
1. 「スタート(窓マーク)」→「設定(歯車マーク)」をクリックしてください。



2. 「Windows の設定」が開くので、「ネットワークとインターネット」をクリックしてください。



3. 「ネットワークとインターネット」の「状態」が開くので、「アダプターのオプションを変更する」をクリックしてください。



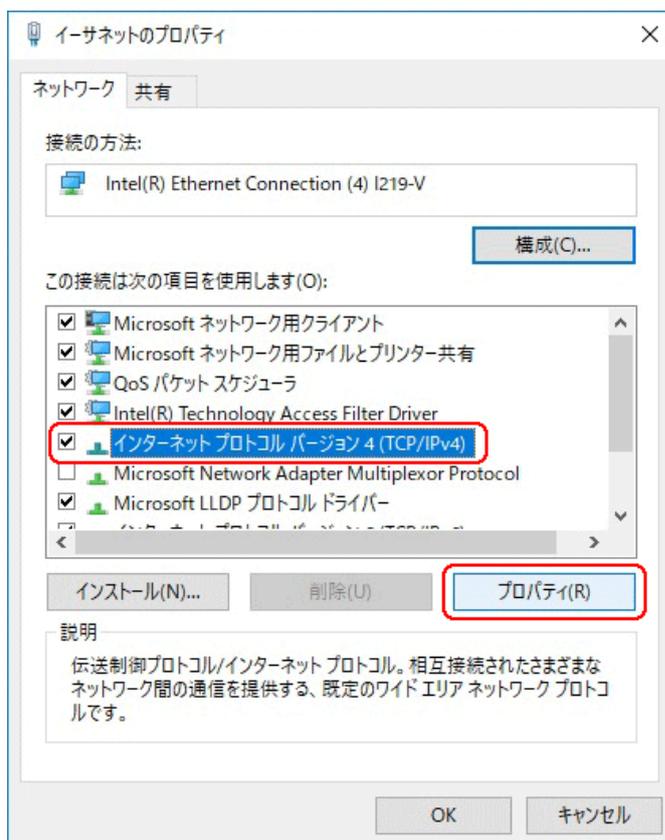
4. 「イーサネット」をダブルクリックしてください。



5. 「イーサネットの状態」ウィンドウが表示されるので、「プロパティ(P)」をクリックしてください。



6. 「イーサネットのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、「インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ(R)」をクリックします。





注意 現在のパソコンの設定を控えておいてください

端末の設定完了後は、パソコンを設定前に戻しますので、どのような設定状態だったかメモ等で控えておいてください。

7. 「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」ウィンドウが表示されるので、「次の IP アドレスを使う(S)」と「次の DNS サーバのアドレスを使う(E)」をクリックして以下の値を入力してください。
デフォルトゲートウェイ、DNS サーバについての値は必要ありません。
入力したら「OK」をクリックします。

IP アドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	設定なし
優先 DNS サーバ	設定なし
代替 DNS サーバ	設定なし

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

IP アドレスを自動的に取得する(O)

次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 1 . 100

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ(D): . . .

DNS サーバのアドレスを自動的に取得する(B)

次の DNS サーバのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバ(P): . . .

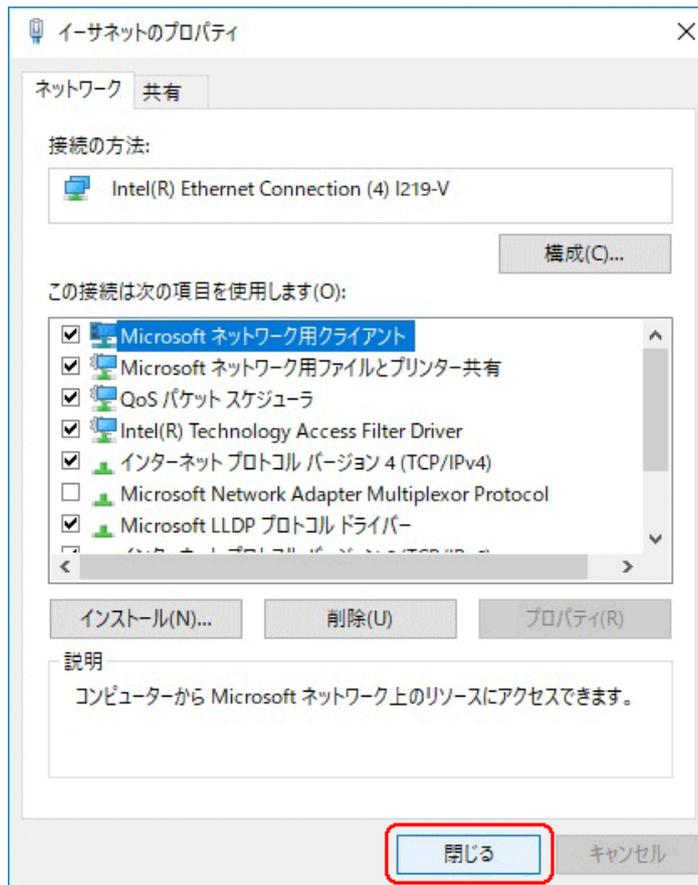
代替 DNS サーバ(A): . . .

終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(V)...

OK キャンセル

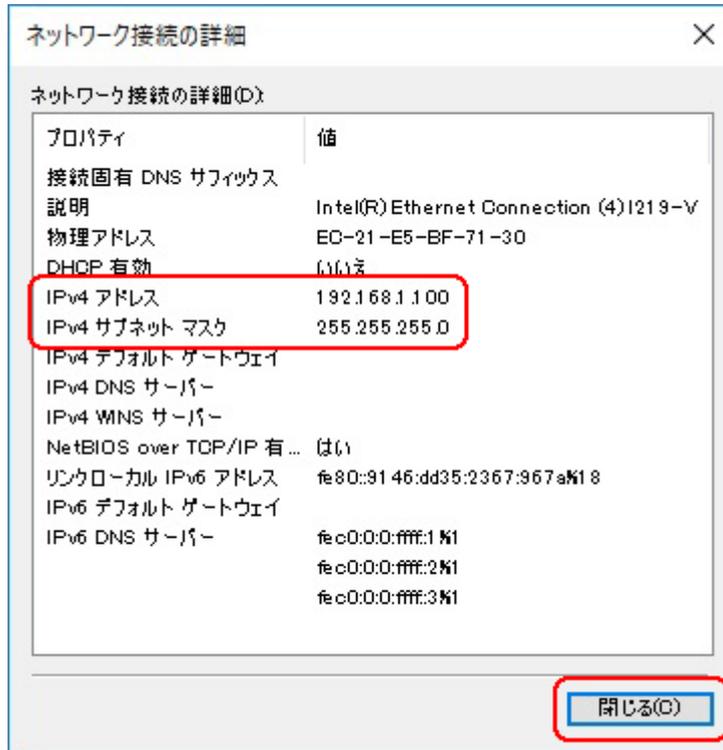
8. 「閉じる」を押して「イーサネットのプロパティ」を閉じます。



9. 【確認】「イーサネットの状態」ウィンドウの「詳細(E)」をクリックします。
「イーサネットの状態」ウィンドウを閉じてしまっている場合は、再度「スタート」→「設定」…とアクセスしてってください。



- 「ネットワーク接続の状態」ウィンドウが開くので、IPv4 アドレスが「192.168.1.100」、IPv4 サブネットマスクが「255.255.255.0」になっていることを確認します。
「閉じる」ボタンをクリックします。



保証書

この製品は、厳密な検査に合格したものです。
お客様の正常な使用状態で万が一故障した場合のみ、保証規定に基づいて無償修理いたします。

- 使用時の注意事項につきましては取扱説明書をご覧ください。
- 故障と思われる現象が生じた場合、まず取扱説明書を参照し、設定や接続が正しく行われているかご確認ください。
- 保証期間内で修理する製品を発送する際、必ず保証書をそえてご依頼ください。本保証書は、製品名、お引渡し日及び販売店名が記載されているレシートや納品書等で代用することができます。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証規定

- 保証期間内に正常なる使用状態において、万が一故障した場合には無償で修理いたします。
- 修理はセンドバック方式です。修理依頼時の送料、機器の取り付け取り外しを業者に依頼した場合の費用はお客様負担にてお願いします。尚、運送中の故障や事故に関して、株式会社エイツーはいかなる責任も負いかねます。
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損害について、株式会社エイツーは一切責任を負わないものとします。
- お客様または第三者が被った下記のすべての損害について、株式会社エイツー及び販売店は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。
 - 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
 - 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等
- 本保証規定に基づく株式会社エイツーの責任は、製品についてお客様が実際に支払った金額を上限とします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 1. 取扱い上の誤りによる故障及び損傷
 2. お客様にて改造・修理をされている場合
 3. お買い上げ後の輸送、移動、落下、そのほかの衝撃による故障及び損傷
 4. 間違って接続した場合（電源電圧が違うアダプタを挿した場合等）の故障及び損傷
 5. 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他の天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷
 6. 戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合による故障及び損傷
 7. 日本国外で発生した損害
 8. お引渡し日及び販売店名の記載がある保証書のご提示がない場合
 9. 株式会社エイツーもしくは販売店の都合以外の理由により、保証書に記載の字句を利用者もしくは第三者が改めた場合
- 本保証規定は、日本国内でお買い求めいただき、日本国内でご使用いただいている場合のみにて有効なものとします（This warranty is valid only in Japan.）
- 本内容については、お客様の権利を不利益に変更するものではありません。

製品名	LANdeVOICE MCS401
保証期間	お引渡し日 年 月 日より1年間

販売店記入欄	販売店名	
	販売店住所	TEL ()

株式会社エイツー
〒142-0041
東京都品川区戸越1-7-1 7F
URL: <https://www.a-2.co.jp>

弊社製品の情報は以下の方法で入手できます。

株式会社エイツー

〒142-0041 東京都品川区戸越 1-7-1 7F

URL : <https://www.a-2.co.jp/LANdeVOICE/>

E-mail : LANdeVOICE@a-2.co.jp

TEL : 03-5498-7411(代)

受付時間 : 9:30～12:00 13:00～17:00 <土日、年末年始、祝日を除く>

<お問い合わせ先>

ご購入頂いた販売店または、代理店へお問い合わせください。

●保証について

- ・故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、接続や設定が正しく行われているかを確認してください。
- ・保証書に記載されている内容を、よくお読みください。正しい使用方法で使った場合のみ、保証の対象となります。物理的な破損が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。

●必要事項

- ・製品名 (Model)
- ・シリアル番号 (SN)
- ・お名前、フリガナ
- ・連絡先電話番号、FAX番号、メールアドレス
- ・購入店
- ・購入日付
- ・接続構成
- ・お問い合わせ内容 (症状や状況、使用されているネットワーク機器等を詳細に)